

索引

1. この索引は、本学報にもちいた語を五十音順に配列し、用語集としての性格をも加味したものである。ただし第1章については簡略にあつかい、人名も採らなかつた。
2. 語のつぎにしめた数字は何ページかをしめし、35-02は、35ページの注02をしめす。そのほか関連する図面(P.LAN), 原色図版(COLOR PLATE), 図版(PLATE), 挿図(Fig.), 表(Tab.), 別表をしめた。
3. 多くのページに出現する語の場合は、その語を最もくわしくあつたページの数字を太字でしめすことがある。
4. 見出し語を、必要におうじて2字分さげて小見出し語に分け、これをさらに小小見出し語にわけてあつたっている。
5. 1つの語を2カ所以上にしめすことも多い。たとえば赤魚は、アカウオの項のほか、魚・篠島・食料・贅・参河の各項にしめしている。
6. →をつけた語は、検索すべき見出し語をしめしている。このほかcf.をもって、反意語や、関連する語をしめす場合がある。
7. 発音に異論のある語、不明な語も多い。ここでは、検索しやすいようになるべく常識的なものをえらび、必要におうじて何カ所かに重複してかかげることにした。
8. 難読の語は、常識的に類推できる発音の項目にも重複してかかげ、身舎シラヤ、海松ウラハシカカイイショウウビルなどを記した。

ア 相欠きアイカキ(木製品結合の加工方法の名) 116

アイヌ民俗例の留め針形木製品114-2)

赤魚アカウオ(木筒モックンに記された魚の名) 参河ミカワ 贅ニエ

56, PL. 37-364

筆筥アゲカスガイ(木筒に記された扉金具の名) 59, PL. 40-2083

顎アゴ(軒平瓦ノキヒラダワラの部分名)

曲線顎キョアセンアゴ66・68, PL. 43-7

段顎ダンアゴ66・68, PL. 43-4~6

直線顎チョアセンアゴ PL. 43-11

朝顔形輪アサガオガタハニウ(埴輪の種類名) 110

浅野 清アサノキヨシ(研究者名) 42-03

絶アシギス(木筒に記された繊維製品名) 56

飛鳥雷丘アスカイカズチノネカ 東方遺跡の土器ドキ 147

飛鳥アスカ I~V(飛鳥藤原地域の土器編年大別段階の仮称)

別表5, 同解説

飛鳥I(小里田宮5A0H SD050 上層土器など) 140, 別表

5, 土師器147・148, 暗文アンモン 144, 土器群147

飛鳥II(坂田寺5BST SG100 土器など)・飛鳥III(6AJG

SK1271土器など・飛鳥Ⅳ(6AMD SD110 土器
など)別表5, 同解説
飛鳥Ⅳの須恵器147・148, 須恵器の器種分化148
飛鳥Ⅴ(藤原宮6AJE・JF SD105) = 平城宮Ⅰ 140,
別表5, 同解説
校倉アベクラ(建物の種類) 31
農所アツモドコロ(官衙名の墨書) 165
当板アテイタ(土器成形の叩板タタキイタを受ける)同心円文 84・
86・94・95
穴・孔アナ
遺構の穴 →土壇ドコウ, 柱穴ハシラアナ 21・22, 柱掘形
ハシラホリカタ 21, 掘形ホリカタ 21
土器の穴
双孔80, PL.46-48
木製品の穴・孔
浅穴イカダアナ 111, 白孔ウスアナ 129, 円孔エンコウ 117・
124・130, 角孔カクアナ 125, 木釘穴キツギアナ 112・121,
釘穴ツギアナ 121, 切り目キリメ 112, 軸孔ジクアナ 117, 穿
孔板モンコウイタ 126, 縦り目ツズリメ 113, 縦り穴トリアナ
112・121・123・130, 針穴ハリアナ 129, 方形の孔130,
納孔ホツアナ 123・130
阿部義平アベギヘイ(研究者名) 156-(3)・(4)
雨落溝アマオチミヅ(遺構の種類) 14左右・16右・24・25・27
SB116(第2次調査)雨落溝出土の土器140
玉石できずいた雨落溝25
天沼俊→アマノシユンイチ(研究者名) 71-72
網状漆製品アミジヨウウルシセイヒン 39・132
編物アミノ(竹製品) 一本送り・ござ目編み・2本替り・2本
寄せ・六つ目編み・四つ目編み 132, Fig.47
綾アヤ(木簡に記された繊維製品名) 56
荒池瓦窯アライケガヨウ(奈良市春日野町の鬼瓦オニガワ 72-(26)
荒堅魚・鹿堅魚アラガツオ(木簡モツカンに記された魚名) 157
阿波アワ(木簡に記された国名) 贊ニエ若海藻ワカメ 荷札56, PL.
37-403, 白米荷札56, PL.38-419
鮑アワビ(木簡に記された貝の名) 上総カズサ 調荷札・志摩シマ
調荷札56, PL.38, 長鮑ナガアワビ 57
暗渠アンキョ(遺構の種類 おおいをした溝) 42
暗渠SX517(西面築地セイメンツクジ南暗渠) 24, PLAN 3,
PL.7-3
暗渠SX518(西面築地中央暗渠) 24・30・33, PLAN 9, PL.
6-1
暗渠SX519(西面築地北暗渠) 24・34, PLAN10, PL.8-1
暗渠用の木樋モクヒ 24, PL.8
暗渠用の掘形ホリカタ 24・25
→瓦組みカワラグミ 暗渠 25・27
西面築地セイメンツクジ北暗渠(SX519) 24・51, PLAN10,
PL.5-2
西面築地中央暗渠(SX518) 24・51, PLAN 9, PL.6-1
西面築地南暗渠(SX517) 24・51, PLAN 3, PL.7-3
内裏外郭築地ダイリガイカクツクジ暗渠(SX706) 27, PLAN
18, PL.31-2・3
東面築地トウメンツクジ暗渠(SD2093) 27, PLAN.6
南面築地暗渠ナンメンツクジ(SX577) 25
安子アンシ(平安時代の人名) 161
暗文アンモン(土師器ハジキの調整技法ナヨウセイキホウ)
暗文の種類
斜放射文・斜放射暗文セイホウシヤアンモン 75・75-(6)・79・
98・144

正放射文・正放射暗文セイホウシヤアンモン 75-(6)
螺旋文・螺旋暗文ラセンモン 75・79・80・93・144
螺旋・斜放射文 77・79・87
連弧文・連弧暗文レンコモン 77
暗文の消長 143・144
暗文の施文方向 87
イ 井イ(瓦の刻印) 66, (墨書土器の文字) 106,
為イ(墨書土器の文字) 105, (金・道と組み合わせ文字) 104, PL.
58-4
位イ(木簡に記された罪金具トビラカナブの名) 59
e 手法イ→シホウ(土師器ハジキの調整手法) 78・78-10・79・
143・144
委員会インカイ
特別史跡平城宮跡調査委員会, 平城宮跡調査指導委員会, 平
城・飛鳥藤原宮跡調査・整備指導委員会 5
家形埴輪イニガタハニワ(埴輪の種類名) 110
胎貝イガイ(木簡に記された貝の名) 59
雷丘イカズチノオカ 東方遺跡の土器 147
浅穴イカダアナ(柱材に運搬用にあけた穴) 111, Fig.16, PL.75
-120
小埴イキス(木簡に記された海藻の名) 56・57
池・苑池イケ・エンチ 古墳周濠を池と考えた15左右
遺構イコウ
遺構各説 24~49
遺構の種類 21
→雨落溝アマオチミヅ・暗渠アンキョ・石敷イシジキ・井戸イド・
古墳コフン・建物タテモノ・築地ツクジ・土壇ドコウ・付設構
造物フセツコウゾウブツ・扉ヘイ・溝ミゾ・門モン
遺構の数 21
遺構の層位的区別ソウイテキ 23・45
遺構の相対年代ソウタイネンダイ 50~52
遺構の分布密度 10
東区の遺構 46~52, PLAN18, PL.27~32, Fig.20
中区西半部の遺構 32~37, PLAN 2~4, 8~13, PL.4
~8, 12~16, Fig.15
中区東半部の遺構 38~45, PLAN 5~6, 13~17, PL.2~
4, 17~26, Fig.17
西・中・東区に分ける遺構 24~28, Fig.11
石敷イシジキ(遺構の種類 礎を敷きつめたもの SX920) 12
17左・39, PLAN 5, PL.20-1
石田古墳(静岡県)の佐波理滝サハリノワシ 別表 5
石田茂作イシダモサク(研究者名) 62-(2)
椅子イス(平安宮の蘭林坊におさめた調度) 160
伊豆イズ(木簡に記された国名) 鹿堅魚アラガツオ 調付札 57
和泉イズミ(須恵器スエキ 貫進国名) 147
出雲イズモ(木簡に記された国名) 贊ニエ 荷札 56
板倉イタクラ(建物の種類) 31
板材イタザイ(木製品の素材) 111
板野命婦イタノノミヨウブ(奈良時代の人名) 56
板目・板目板イタメ(木目の種類) 113・115~130 cf. 経目マナメ
イチ(墨書土器の文字) 106
I 群土器イチグンドキ→第I群土器ダイイチグンドキ
I 手法イチシホウ(土師器の調整手法名) 75
市庭古墳イチニワコフン(SX500) 9~13・15左右・53~54, PLAN
19, PL.33~35, Fig.23
外庭ガイテイ Fig.10
周濠シユウゴウ 16左・17左右・18左・19右・20左右・53・54,

- 周濠を埋めて造成150・152, Fig.9
 周濠東岸17右, 周濠北岸17左右・18左
 周濠を苑池エンチと解釈15右
 前方部ゼンボウブの破壊削平150, 東南隅19左, PLAN19
 埴輪ハニワ54・110, Fig. 44
 葺石フキイシ 18左・20右・54
 1本送りイッポンキアリ(編物のあみ方の名)132
 糸イト(木簡に記された繊維名)56・166
 井バイド(遺構の種類 表示記号はSE)
 SE311-B(第7次調査)出土の土器(平城宮Ⅷ)95・96, Tab. 23
 SE715 16右・46・51, PLAN18, PL.31-1,
 出土の土器96・140, PL.54・61
 SE2128 13・19左右・27・44・50・52・151~153・155・166, PLAN16, PL.24, Fig.19,
 SE2128出土の土器98, PL.54
 SE2139 19左右, PLAN16
 SE2278 155, PLAN12, 出土の土器158
 SE6166(第52次調査)出土の土器139
 井戸覆屋オオイヤ44, 井戸をとまなう空間地155, 井戸枠板ワ
 イタ 45・125, PL.24, 井戸番付バンスケ19右・45, 土壁を
 井戸と解釈17右, 井戸をかこむ溝(SD2126)44
 糸巻イトマキ(木製品の種類)116・117・166, PL.67
 糸巻の部分名 軸棒ジクボウ・枠木ワツキ・横木ヨコキ116・117
 糸巻イトマキボウ(紡錘車ボウスイシヤの部分名)118, PL.67-45
 糸柱イトマキ(こまかい柱目マキ)112
 衣縫庵寺イスイハイジ(=井上寺, 大阪府)の軒丸瓦ノキマルダワラ 64
 -15
 犬走りイヌバシリ(築地とそれにとまなう溝との間の空地)24
 井上寺イノウエテラ(=衣縫庵寺)の軒丸瓦 64-15
 茨城県イバラキケン(=木製品の民俗例)120-00
 遺物イブツ55~134
 →瓦カワラ・埴セン・繊維製品センイセイヒン・土器ドキ・木簡モツ
 カン・木製品・木炭
 今泉隆雄イマズミツタカ(研究者名)56-(2), 166-131
 伊子イヨ(木簡に記された国名)米荷札56, 中男作物チユウナンサフモツ
 旧鯖アサバ中男作物チユウナンサフモツ 荷札56, PL.38-361
 岩井孝次イワイコウジ(研究者名)60-(2)・66-00・72-00
 磐之媛陵イワノヒメリョウ(奈良市佐紀町にある古墳)54
- ウ 上田三平ウエダサンペイ(研究者名)62-(5)・68-00
 上田宏範ウエダヒロノリ(研究者名)54-(1)
 右衛門陣ウエモンジン(平安宮の宜秋門ギシュウモン)の別称)160
 鶴飼ウカイ59・165
 承盤・受皿ウケザラ(木製品の用途)122, 硯スズリの受皿(研盤)
 103, PL.57
 歌ウタ(墨書土器の文字)107, PL.60-59
 内掃司ウチノカモリノツカサ(官衛の名)163-13
 内蔵寮ウチノクラノツカサ(官衛の名)163・166, Fig.59
 内匠寮ウチノタノツカサ(官衛の名)163・164, Fig.59
 団扇ウチワ112-(1)
 蕨甲蕨ウ=56
 采女ウメ56
 采女板野命婦イタノメウツ(奈良時代の人名)56
 采女朝臣比等アノヒヒト(奈良時代の人名)166
 采女司ウメノツカサ(官衛名)159・160・162, 采女司の長官
 166
 宇波加ウハカ(木簡に記された魚名)56
- 馬形ウマガタ(形代カタシロの一種)127
 埋木ウメギ(木製品の加工技法 穴に別の木をうめてふさぐ)125
 梅原末治ウメハラスエジ(研究者名)103-00
 漆製品ウルシセイヒン 漆冠ウルシカンムリ・樹状漆製品39・132,
 漆蓋ウルシフタ123
 釉葉ウワズリ・ユウヤク
 鉛釉エシユウ・ナマリユウ鉛釉陶器145・146, PL.56, Fig. 41
 3彩釉サンサイユウ・3彩鬼瓦オニガワラ71・72, COLOR
 PL.2-1, PL.44-1
 3彩陶器99・145, COLOR PLATE 2-2, PL.56,
 Fig.41
 自然釉シゼンユウ85・86・98
 鉛釉ナマリユウ145・146
 2彩釉ニサイユウ 2彩釉陶器99・146, Fig.41
 ウワナバ古墳コワン(奈良市法華寺町にある古墳)3・54
- エ 柄エ(木製品の部分)115・127, 柄頭エガシラ115, 柄状木製品127
 A 形態(土師器杯フキ口縁部の形)77・79・87, PL.45-1~3
 (須恵器蓋フタの形)82・83・144, PL.48-265
 a 手法(土師器の調整手法)75・87・143
 えぐり(木製品の加工法)112・124・127
 衛士エジ(官職名)58
 衛土府エジフ(官衛名)56・164 左右衛土府サウエジフ56, PL.40
 -1886
 Sエス(遺構を表わす記号 他のアルファベットと組み合わせる)
 SEエスイー(井戸), SAエスエー(畑ヘイ・築地ツイジ), SHエス
 エイナ(広場), SXエスエックス(SA・SB・SC・SD・SE
 ・SF・SG・SH・SK以外の遺構), SFエスエフ(道路),
 SKエスケー(土城ドコウ, 穴・ピット), SCエスシー(回廊),
 SGエスジー(池), SDエスデー(溝), SBエスビー(建物)
 越前エナゼン(木簡に記された国名) 波奈佐久ハナサフ 調付札57
 越中エツチユウ(木簡に記された国名) 中男作物チユウナンサフモツ
 鯖サバ荷札56, PL.38-357, 調鯖サバ付札57
 手法エフシユウ(土師器の調整手法の旧称, 今回のa手法にふくむ)
 衛門府エモンフ(官衛の名)56・164
 円エン(土器の墨画)106, PL.62-43
 延喜式エンギシキ(平安時代の文獻)165
 延喜主計式シュケイシキ147, 延喜式神祇系ジシキノジョウにてで
 くる刀形115
 苑池エンチ 古墳の周濠を苑池と考えた 15左右
 園池司エンチシ(官衛名)56・104-00・164・165
 延長エンシヨウ(10世紀の年号)161
 円筒埴輪エントウハニワ(埴輪の種類名)110, Fig.44-3~5
 円板エンパン(木製品の種類)
 小円板ショウエンパン126, 曲物容器マゲモノヨウキ 底板・蓋板
 111・112・120~121
 円面硯エンメンケン(硯スズリの種類)101, PL.55
 圓足硯エンソクケン101, PL.55, 踏脚硯タイキヤクケン101,
 PL.55, Fig.42
 円融天皇エンユウ(10世紀の天皇)162
 鉛釉陶器エンユウトウキ96・99・145・146, PL.56, Fig.41
 延暦エンリョク(8~9世紀の年号)140・167
- オ 鸚鵡・鸚鵡鳥オウム(墨書土器に記された鳥の名)104, PL.58
 -4・4
 鸚鵡杯(貝製酒器)・鸚鵡鳥杯104
 王勃集オウボツシユ(中国の文獻名)58

近江オウミ(木簡に記された国名) 白米荷札56,

(須恵器の貢進国名)147

大井殿オキヅフ(備中国賀夜郡大井郷産の厭)PL.38-312

大炊殿オキドノ(官衙名)165

大型軒丸瓦オオガタノキマルガワラ(瓦の種類)137・138

6225L.型式62・137・138, PL.41-7, Fig.48

6282L.型式137・138, Fig.48

6304L.型式137・138, PL.41-10, Fig.48

大蔵省オキクラシヨウ(官衙の名)166

太田英蔵オオタエイゾウ(研究者名)118-(6)・(8)

大野 オオノフツム(研究者名)118-(8)

大飛鳥オオヒシマ(岡山県の島の名)出土の二彩釉陶器100

大麦オオムギ(木簡に記された穀物の名)56

大棟オオムネ(建築の部分名)138

岡田茂弘オカダシゲヒロ(研究者名)60-(2)

拌みオガミ(建築の部分名)138

岡本東三オカモトツヨウ(研究者名)156-(3)・(5)

隠岐トキ(木簡に記された国名)調海松ミル荷札57

桶オケの柄エ(木製品の部分)124

桶巻作りオケマキヅクリ(平瓦の製法)73

折敷オシキ(木製品の容器名)122

折敷の部分名 側板ガワイタ・底板ソコイタ122

折敷転用の物差モノサシ・藤原宮跡出土の底板122

おつたて(紡織具の名)118

オドリカンザシ(竹箬を髪飾りに使う民俗例)114-(2)

鬼瓦オニガワラ(道具瓦ドウガワラの種類名)71・72, COLOR

PL.2, PL.44

鬼瓦の唐草文カラクサモン73, 鬼身鬼瓦キシン72, PL.44-3,

鬼面鬼瓦キメン71・72, PL.44-2, Fig.32・33

荒池瓦窯の鬼瓦72-26, 加守カモリ庵寺の鬼瓦72-26, 興福寺
の鬼瓦72-26, 国分(大阪府)の鬼瓦72-26

西安寺の鬼瓦72-26, 東条(大阪府)の鬼瓦72-26,

三彩サンサイ鬼瓦71・72, COLOR PLATE 2, PL.44-1

大安寺の鬼瓦72・71-26, Fig.32, 東大寺講堂・西塔の鬼
瓦72-26

鳳凰文ホウオウモン 鬼瓦72, PL.44-4

斧オノ(木簡に記された工具名)59, (木製品加工の工具)54・111

小墾田宮オハリダノミヤ伝承地SD050の土師器ハジキ(飛鳥I)別
表5, Fig.50

小治田安万呂オハリダノヤスマロ墓出土の三彩釉陶器145-25

念オモウ(墨書土器の文字 君・我と組み合せ文字)104, PL.58

-4

尾張オワリ(木簡に記された国名)56・57, 調塩札57

カ 菓カ(墨書土器の文字)105, PL.59-15

化カ(墨書土器の文字)105, PL.59-18

可カ(墨書土器の文字)105, PL.58-10

我ガ(墨書土器の文字, 君・念と組み合せ文字)104, PL.58-4

戒カイ(墨書土器の文字)105, PL.59-21

貝カイ(木簡に記された食品名)→胎貝イガイ・鮑アワビ

外区ガイク(軒平瓦ノキヒラガワラの文様区名)66

(軒丸瓦ノキマルガワラの文様区名)62

外傾ガイケイ(土器の口縁端面コウエンタンメンの形状)77-(8)

(土器の高台コウダイ・脚端面キョクタンメンの形状)81

楷書カイショ 105

海松カイショウ→ミル(木簡に記された海藻の名)56・57, →隠岐
オキ57

貝製酒器カイセイシユキ 104

海藻カイソウ(木簡に記された食品名)56・59

小庭イグス56・57, 海松ミル56・57, 若海藻・釋海藻フカメ
57, 紫菜ムラサキノリ58

甲斐忠彦カイトダヒコ(研究者名)156-(3)・(4)

改築カイチク36・153

外門ガイモン(=宮城門 平城宮の門の種類)164, cf. 中門・内門

灰釉陶器カイユウトウキ96・98・146, PL.56

模倣土師器モホウハジキ 143

回廊カイロウ(遺構の種類の名, 表記記号SC)

内裏築地回廊ダイリツイジカイロウ 27

内裏北面築地回廊ホクメン(SC060)15左右・16右・18右・
19右・27・28, PLAN 2-6, PL.2-4, Fig.12

内裏南面築地回廊ナンメン28, PL.2, 4-1

榎廊フクロウ(中央に壁をもつ梁行2間の回廊)27 cf. 単廊

逆刺カエリ(鎌ゾクの部分名)115

掻き目カキメ(須恵器スエキの調整手法の名)83・84

角材カクザイ(木製品の素材・部材)124・125

小角材ショウカクザイ 127, 納孔ホノアナある角材123

薬所ガクショ(平安宮の官衙名)161

花崗岩カコウガン(礎盤ソバンの材料)35-12

重ね焼カサネヤキ(須恵器スエキの焼き方)85

カシ・樫(木炭の原木)133・134

炊女クシメ(墨書土器に記された文字)107, PL.61-71

勸修寺家カジュウジケ旧蔵古図160

過所カソ(通行証)木簡に伴出した土器139

嘉承カショウ(12世紀の年号)160

上総カズサ(木簡に記された国名)調海アワビ荷札56・57, PL.38
-337

瓦蟬ガゼン 60-74

片岡王寺カタオカノウジ(=放光寺ホウコウジ)の軒丸瓦60・62-(2)

片岡尼寺カタオカニジの軒丸瓦62

形代カタシロ(木製品の用途 何かの形を摸して作った祭祀具)115

馬形ウマガタ 127, 刀形カタナガタ 115, 鳥形トリガタ 127,

人形ヒトガタ 127

鏡形ヤジリガタ 115, 利器形リキガタ 115

刀形カタナガタ(木製品の種類)115・128, PL.66-26-28, Fig.
46

元興寺極楽坊ゴンゴウゴクツクボウ中世遺構出土の刀形115

藤原宮跡出土の刀形115, 文献に見える刀形115

刀形の部分名称 115 柄エ・柄頭エガシラ・鑢シノギ・背セ・
把ツカ・銚ツバ・刀身トウレン・刃ハ・刃先ハサキ・関マチ
・身ミ 115

堅魚カツオ(木簡に記された魚の名) Tab.2

荒堅魚・鹿堅魚アラカツオ57, 中男物チウナンサクモツ56,
遠江トオトオミ57

葛石カワライシ(建物基壇タテモノキダン外装ガイソウの部分名)27

花頭カトウ(軒平瓦ノキヒラガワラの文様の部分名)66-68, 136

瓦当ゴトウ(軒瓦の部分)62

金具カナブ(木簡に記された扉トビラの部品名)59, PL.40-2083

拳鑑アゲカスガイ59, 位イ59, 環カン59

鏡カナマリ(金属製の鏡)142・143 佐波理サハリ鏡143, 別表5

鏡形土師器ハジキ148

要カナメ(楡扇ヒオウギの部分名)112

金カネ(墨書土器の文字, 為・道と組み合せ文字)104, PL.58-4

柑カワシリノツギ・カン(木簡に記された土器の名)56

樺カバ・カンバの皮121

樺皮による綴じ合わせ 121-123・130

加比カヒ(木簡に記された容器の名)56

壁の焼けた土壌ドコウ(SX801) 48・51・52・151, PL. 31-4・

5, Fig. 21

華芳坊カホウボウ(平安宮の官衛名) 12・159・160・162・164,

Fig. 59・60

窯カマ → 瓦窯ガヨウ → 古窯コヨウ

窯カマド(土師器ハジキの器種名)87

窯道具カマドウグ(陶磁器を焼くとき使う道具) 三叉ヤシサトチ
99・100

釜所カマドコロ(平安宮の官衛名)163

髪飾リカミカザリ(木製品の用途)114-(2)

甕カメ(土器の器種名) 別表6

須恵器スエキの甕 別表6

甕A 86・90・96, PL. 50-334, 甕B 86・94・96,
PL. 50-332, 甕C 86・90・94, PL. 50-333, 甕E
90, Fig. 38-376, 甕X 86, PL. 50-335

土師器ハジキの甕 別表6

甕A 80・87・93・94・96, PL. 46-56, 甕B 80・87
・93・94, PL. 46-50, 甕C 80・94, PL. 50-57, 甕
X 80, PL. 50-58

亀形硯カメガタズリの蓋フタ 102, Fig. 43

加守カモリ魔寺(奈良県)出土の鬼瓦72-26

掃部寮カモリノツカサ(平安宮の官衛名)163, Fig. 59

瓦窯ガヨウ・カワラガマ 荒池瓦窯の鬼瓦72-26, 奈良山52号窯138

がら(紡織具の名)118

唐居敷カライシキ(扉の軸受け装置をもつ部材)25

唐草文カククサモン(瓦の文様名) 鬼瓦の唐草文73, 均整唐草文

キンセイ66・67, 偏行唐草文ヘンコウ66

鳥口カラスグチのような切り目(木製品の加工法)116

ガラス小玉コダマ44

川越俊一カワゴエシユンイチ(研究者名)156-(4)

大伊カロ(木簡に記された調度名)56, PL. 36-479

把手付双孔大蓋蓋トッテフキソウコウモイオガタフタの用途80, PL.
46-48

側板カワイタ(井戸枠イドワクの板)44, 曲物マゲモノ 容器の側 121

河内カワチ(土師器ハジキ生産の国名)147

河原純之カワハスミユキ(研究者名)11-(7)

廟カワヤ 162

瓦カワラ60-74, 135-138, PL. 41-44, Fig. 24-34・48,

Tab. 21, 別表2-4

→大型軒丸瓦・鬼瓦・瓦組み暗渠アンキョ

瓦の部分名称

→顎アゴ, 凹面オウメン27・73, 瓦当ガトウ・瓦当部62, 玉
縁タマブチ62, 凸面トツメン27・73, 平瓦部ヒラガワラ74,
丸瓦部マルガワラ62

瓦の叩目タタキメ62, 瓦の作り方73, 瓦の縄目ナワメ68・73

瓦の文様モンヨウ→軒平瓦ノキヒラガワラの文様・軒丸瓦ノキマ
ルガワラの文様

→小型軒平瓦コガタノキヒラガワラ 138・小型軒丸瓦コガタノキマル
ガワラ65・138

隅切瓦スミキリガワラ 68, Fig. 31

→道具瓦ドウツガワラ

→軒瓦ノキガワラ・軒平瓦ノキヒラガワラ・軒丸瓦ノキマルガワラ

鬘斗瓦ノシガワラ73

棟瓦ムネガワラ138

面戸瓦メンダガワラ73, 蟹面戸カニメンダ73

文字瓦モジガワラ74, Fig. 34

瓦窯カワラガマ・ガヨウ 荒池瓦窯72-26, 奈良山52号窯138

瓦組み暗渠アンキョ

SX 577(南面築地SA 488の暗渠) 25, PLAN 4, PL.

15-3

SX 706(東面築地SA 705の暗渠)18・27, PLAN18, PL.

31-2・3

観カン(墨書土器の文字)104, PL. 58-5

増カン・カハシリノツキ(木簡に記された土器の名)56

鏡カン(木簡に記された扉金具の名)59

官衛カンガ(役所)

→ 築所アツモノドコロ・内掃司ウチノカモリノツカサ・内蔵寮ウチノク
ラノツカサ・内匠寮ウチノタクミノツカサ・采女司ウネメノツカサ・
衛士府エジフ・衛門府エモンフ・園池司エンチシ・大炊殿オオイ
ドノ・大蔵省オオクラシヨウ・楽所ガクシヨウ・掃部寮カモリノツ
カサ・華芳坊カホウボウ・釜所カマドコロ・官奴司カンヌシ・議
所ギシヨウ・宮内省アナシヨウ・桂芳坊ケイホウボウ・御書所ゴシ
ヨシヨウ・坤宮宮コングワン・左右衛士府サウエジフ・左勇士衛
サウジエ・左右兵衛府サウヒョウエフ・左右馬寮サウメリョウ
・職院シキエン・職曹司シキノゾウシ・職御曹司シキノミゾウシ・
侍従所ジジュウドフロ・修理司シュリシ・主葉餅シユカヘイ・主
水司シユスイ→モイトリノツカサ・主馬寮シユメリョウ・図書寮ズシ
ヨリョウ・造興福寺仏殿司ゾウコウフツジヤツデンシ・造酒司ゾウ
シュシ・サケノツカサ・大膳職ダイゼンシキ・中和院チュウカイ
シ・中宮職チュウグウシキ・中務省チュウム→ナカフカサシヨウ・典
藥寮テンヤクリョウ・東院縫殿トウインヌイドノ・図書寮トショリ
ョウ→ブショリョウ・内匠寮ナインシヨリョウ→ウチノタクミノツカサ・
内膳司ナイゼンシ・内掃司ナイスウシ→ウチノカモリノツカサ・内蔵
寮ナイゾウリョウ→ウチノクラノツカサ・中務省ナカフカサシヨウ・女
醫町・女醫町ニョジュマチ・縫殿寮ヌイドノリョウ・造酒司ミキ
ノツカサ→サケノツカサ・御厨子所ミズシドコロ・民部省ミンブシ
ョウ・主水司モイトリノツカサ・木工寮モッコウリョウ・コダクミノツ
カサ56・蘭林坊ランリンボウ

内裏北外郭ダイリキタガイカクに存在した可能性がある官衛164
内蔵寮ウチノクラノツカサ 166, 内匠寮ウチノタクミノツカサ
164, 采女司ウネメノツカサ 166, 園池司エンチシ 165, 官
奴司カンヌシ 166, 左兵衛府詰所サヒョウエフノフメシヨ 164,
大膳職ダイゼンシキ 165, 内膳司ナイゼンシ 165, 縫殿寮
ヌイドノリョウ 166, 主水司モイトリノツカサ 166

元慶ガンギョウ(9世紀の年号)161

元興寺ガンゴウジ極楽坊ゴクラクボウ中世遺構出土の人形ヒトダタ115

カンザシ・簪(木製品の種類)114-(2), PL. 65

官人カンジン(墨書土器の文字)107, PL. 61-72

漢籍木簡カンセキモクカン(中国文献をうつした木簡)56, PL. 39

王勃集オウボツシユウ58, 文選モンゼン56, 文選注モンゼンチユウ
56・58

官婢カンヒ166

寛平カンビョウ(9世紀の年号)166

冠帽カンボウをとめる木針キバリ 114, PL. 65

貫入カンニユウ(陶磁器に生じたひびわれ)99

観音塚カンノツツカ(群馬県)出土の佐波理器サハリノウツツ Fig. 50

官奴司カンヌシ(官衛名)164・166

冠カンムリ(糊状漆製品)39

キ 木キ(墨書土器の文字)106, PL. 60-47

木表キオモテ(木製品の木取り) 121・128・130

紀伊キイ(木簡に記された国名)調塩付札56

規格性キカクセイ(土器の法量・器種)147, 別表5

菊キク(墨書土器の文字)107, PL. 60-58

木釘キクギ(木製品を結合するための釘)112・121・124・125

木釘穴キクギアナ 112・120・121・123

記号キゴウ(墨書土器の墨画)106-108, PL. 59-60

(寛播ヘラカキ土器の寛画)108

岸 熊吉キシクマキチ(研究者名)163-(3)

器種 キシユ

器種の改称76, 別表6

器種の規格性 147-149

器種の形態変化 別表5, 須恵器 144, 土師器 142-143

器種の構成76

器種の消長 142-144, 別表5

器種の分化 須恵器 148-149, 土師器148

器種名の墨書ボクシヨ

鸚鵡鳥坏キウムノトリノフキ 104, PL. 58-4, 研ケン・ス

ズリ 105, PL.58-10

研盤ケンパン・スズリサラ 103, PL.57-1, 坏フキ 104・

106, PL.57-1

土盤ツチサラ・ハジサラ 104, PL.57-1, 鳥食入器トリノシ

ョクイレルウツワ 104・165, PL. 58-3, 鳥坏トリノフキ

104・165, PL.58-3, 養盤ヨウバン 107, PL. 60-53

木簡にみえる器種名

増カハシリノツキ・加比カヒ・小坏コツキ・水甌スイヒョウ

・高坏タカツキ・坏蓋ツキフタ・与区閉ヨクヘ・壺ワン56

宜秋門ギシユモン(平安宮の門)160

基準尺キジュンシヤク 22・23・151

天平尺テンビョウジヤク 22, 長い基準尺152, 1尺=294-303mm

22, 1尺=30.0cm 153

議所ギシヨ(官衙名)161

北キタ(瓦の刻印)64・66

喜谷美宜キタニヨシノリ(研究者名)66-00

北炬キタノカガリ・北炬門(平城宮内裏北門) PL.36-91

詰キタイ(木簡に記された食品 干し肉)56・57

北府キタフ →ホクフ(平城宮の兵衛の詰所)PL.36-91

北門キタモン(平城宮内裏の門)PL.36-91

基壇キダン 25・27

吉キチ(墨書土器の文字)105・107, PL.58-10

鬼頭清明キトウキョウキ(研究者名)167-(7)

木取キドリ

板目材イタメザイ113・119・121-123・126・128-130, 木表

キオモテ128・130

木口コグチ・木口面122・126・130・131, 柾目板マサメイタ・

柾目材マサメザイ120・121・122・124・126・127・129・130,

木心モクシンをさける131

木理モクリに直交・横断111・122・124・127, 木理の方向122

横木ヨコギにとる130・131

絹キヌ(木簡に記された繊維の名)56

蓋埴輪キヌガサハニワ(埴輪の種類)110

紀年木簡キネンモクカン(年を記した木簡)57, 59, 74-79, Tab.

2

神亀ジンキ56・57・59・139, PL.40-2083, 天平テンビョウ

56-59・138・139,

天平勝宝テンビョウシヨウホウ 59, 天平宝字ホウジ 58, 養老ヨウロ

ウ 58, 霊亀レイキ57・139

木下 忠キノシタダシ(研究者名)122-00

木針キバリ(木製品の種類)121・114

木札キツダ(木製品の種類)126

君キミ(墨書土器の文字, 我・念と組み合わせ文字)104, PL.58

-4

客キヤク(墨書土器の文字)107, PL.60-64

Q地区整地層キョウチクセイチンウ出土の土器90, Fig.38

九キユウ(墨書土器の文字)107, PL.60-58

宮城キユウイキ 西方官衙セイホウカンガの瓦Tab.21

西南隅の瓦136, Tab.21

宮城門キユウジヨウモン(=外門, 平城宮の門の種類)164, cf. 宮

門・閤門, 佐伯門サヘキモン・朱雀門スザクモン・玉手門タマテ

モン3

宮廷キユウテイの土器149

宮門キユウモン(=中門, 平城宮の門の種類)164, cf. 宮城門・閤

門

旧地表面キユウナヒョウモン26

九曆キユウレキ(平安時代の文献名)161

凝灰岩ギョウカイガン 27・28・33・37・47

雨落溝アマオキミノツ 27, 基壇外装キダンガイソウ 27, 切石を敷い

た溝27, Fig.12

宜陽殿ギョウヤン(平安宮の建物名)161

魚介藻類ギョウカイソウルイ(木簡に記された食品名)56, →貝・海藻

・魚

曲線顎キョクセンアゴ(軒平瓦の顎の形状)66・68, PL.43-7,

cf. 段顎・直線顎

玉葉ギョウヨウ(平安時代の文献名)160

鋸歯文キョシモン(軒瓦の文様)62

錐キリ(木製品加工用の工具)111・124・126・130

煮錐ツボギリ112, 鼠刃錐ノズミバギリ112, 四ツ目錐ヨツメギリ

112

きりかき部材(木製品の種類)124

金キン(墨書土器の文字, 為・道と組み合わせ文字)104, PL.58-4

均整唐草文キンセイカラフサモン(軒平瓦の文様)136, PL.43-2-

10, cf. 偏行唐草文

金属製の鏡143

金属製の模倣土器143, Fig.50, 金属製碗と土器・陶器

別表5

興福寺・正倉院金属製碗と土器・陶器 別表5

金鈴塚キンレイヅカ古墳(千葉県)の佐波理鏡 別表5

ク 杭クイ(木製品の種類)125, PL.72-141・142

杭穴列(SX2086) 18右

空間地クウカンチ 152・153・155

鼓クキ(木簡に記された調味料の名) 武蔵の贄ニエ付札57, PL.,

37-404

釘クキ 釘穴119, 釘描き刻線124, 木簡に記された釘59

→木釘キクキ・木釘穴, 平釘(木簡に記された釘)59

くさび(楔)形木製品125, PL.72-135・137・138, Tab.17

草蓆クサボウキ132, PL.77-7, Fig.47-7

櫛クシ(木製品の種類)113, PL.65-5・7・9, Fig.45, Tab.,

11

櫛の部分名称 肩部かたボ・切通し線キリトキセン・歯ハ・

むね113

串形クシガタ木製品128, PL.73-164-166, Tab.18

九条家本クジョウケボン『延喜式』宮城図・九条家本159・160・162

・163

降り棟クダリムキ138

沓クツ 108, PL.62-84

宮内省 フナイシヨウ(八省のひとつ)56・163

宮内省関連の官衙

采女司ウネメノツカサ165, 園池司エンチシ165, 官奴司カンヌシ

166, 大膳職ダイゼンシキ164, 内膳司ナイゼンシ164, 主水

司モイトリノツカサ164

宮内省関連の墨書土器・木簡163, 163-(3)

宮内天長節 クナイテンチャウセツ(墨書土器の文)163—(3)

国クニ → 国名 コクメイ

恭仁京クニキョウ157

クスギ・櫟(木炭の原木)133・134

組合せ文字クミアワセモジ104, PL.58—4

久米寺クメテラ(奈良県)の軒丸瓦60, 62—(2)

蔵クラ(倉庫)160

水母クラゲ(木簡に記された食品の名)備前の贄ニエ荷札57, PL. 37—398

蔵部クラベ(官職)関連の木簡166, PL.40—1943

栗クリ(墨書土器の文字)106, PL.60—47

くりかた(木製品の加工部分)116・117・127・131

剣りものフリモノ(木製品の種類) 杓子シャクシ119, PL.71—74

黒綿クロワタ(木簡に記された繊維名) 豊前アゼン57

桑クワ(墨書土器の文字)105

鞆クワ(木簡に記された農具名) Tab.2

大井鞆オノイグワ PL.38—312, 調付札チャウノツケマダ56・57, 備前56・57, 備中56, 備後56・57

君ワン(墨書土器の文字, 我・念と組み合わせ文字)104, PL.58—4

ケ 毛ケ(墨書土器の文字)105, PL.59—22

KM22号窯ケイエム(大阪府陶邑スエムラ古窯)の須恵器Fig.50

計画尺ケイカクシヤク 22, → 基準尺

径高示数ケイコウシスウ(土器の直径と高さの比率)81・82・85・145 148・148—(B)

径高示数の減少148

形象埴輪ケイショウハニワ(埴輪の種類)110

圭頭ケイトウ(木製品部分の形)128

桂芳坊ケイホウボウ(平安宮内裏北部の建物)12, 159・164, Fig. 59・60

外記ゲキ(平安時代の文献)163

けし炭ケシズミ(木炭の種類)133

削り掛けケズリカケ(木製品の種類)127・128

削り出し高台ケズリダシコウダイ(製法による土器高台の種類)146 cf. 貼り付け高台

桁ケタ(木簡に記された建築部材)59, PL.40—2074

下駄ゲダ(木製品の種類)128

下駄の部分名称 歯ハ・鼻緒孔ハナオアナ・前臺マエツボ・連歯レンバ128

桁行ケタユキ(建物の桁のかかる方向) 桁行総長ケタユキソウチャウ 23, cf. 梁行ハリエキ

種ケチ(木簡に記された繊維の染め方名)56

結ケツ(墨書土器の文字)105, PL.58—10

毛原麿寺ケハラハイジ(奈良県)の軒平瓦68, 68—(2)

蝶羽ケラバ(建物の部分)138

研ケン・スズリ(墨書土器の文字)105, PL.58—10

剣ケン(木製品の種類 利器形木製品)115

元号ゲンゴウ → 年号ネンゴウ

玄耀門ゲンキョモン(平安宮の門の名)160・162・163, Fig.60

建春門ケンシュンモン(平安宮の門の名)160, Fig.59

圈線文ケンセンモン(軒丸瓦の文様)66

圈足硯ケンソクケン(硯スズリの種類名)101, PL.55—1—7 cf. 踏脚硯テイキヤクケン101, PL.55—11—13

建築ケンチク → 建物 タテモノ

建築部材 プヂイ

桁ケタ59, 飛炎垂木ヒエンダルキ59, 辺付ヘンツケ59

研盤ケンバン・スズリザラ(墨書土器に記された器種名)103・104,

PL.57—1

交易紙コウエキガミ(木簡に記された文字)57

交易銭コウエキセン(木簡に記された文字)56

口縁端面コウエンタンメン(土器の部分名 口縁部の端面)77

A形態・B形態77

口縁部(土器の部分名) 口縁部と手法との関連77・79

後宮コウキユウ166

工具コウグ(木製品の加工用具)斧ノノ111, 錐キリ112・124・126・130,

楔クサビ111, PL.72—135—138, 小刀コガタナ111・112,

手斧チウオウナ111・130,

壺錐ツボギリ112, 鼠刀錐ネズミバギリ112, 鈍ナタ111, 鋸ノコギリ111・113・128・130・131,

鑿ノミ112・123・124・128・130, 鉋ヤリガシナ111・115・121,

四ツ目錐ヨツメギリ112

(木簡に記された工具の名)斧・平釘59

コ 格子コウシ(木製品の種類)125

格子印目コウシノタタキメ(瓦の調整痕)62・73

高台コウダイ(土器・陶器の部分) 削り出し高台・貼り付け高台 146

興福寺コウフクジ

出土の鬼瓦72—(26), 興福寺式軒丸瓦62・64—(8)・136

造興福寺仏殿司136 興福寺金銅鏡 別表5

貢進物木簡コウシンブツモクカン56

高台コウダイ(容器の部分名)77・81

土器の高台77・81, 高台付平瓶ヒラカ144, 須恵器高台の形 81・83・84

弘仁コウニシ(9世紀の年号)160

閤門コウモン(=内門 平城宮の門の種類)164, cf. 宮門・宮城門

光明池コウメイウイケ(大阪府陶邑古窯スエムラコウヨウ)の須恵器146

光明皇太后コウメイコウコウタイゴウ166—(5)

行夜使コウヤシ→ヨマワリノツカイ(木簡に記された官職名)56, PL.36—61

広葉樹材コウヨウジュゲイ(木製品の原材)116・120・123・127・131

小刀コガタナ(木製品加工用の工具=刀子トウス)112, → 刀子

小型軒平瓦コガタノキヒラガワラ 6666型式 別表3, 6685型式68, PL.43, Fig.30

小型軒丸瓦コガタノキマルガワラ 6313型式138, PL.42, 6314型式 138, PL.42, 小型軒丸瓦の用途138, 別表4解説

五斤ゴキン(木製品の墨書)126, PL.73—154

刻印コクイン(瓦の刻印)64・66・74, Fig.34

黒色土器コクショクドキ(土器の種類)146

黒色物質コクショクブツシツ 須恵器の胎土83, 土師器に付着87

刻線コクセン(木製品表面の加工)124・125・127

刻線文土器(焼成後に刻線文を加えた土器)108, PL.62—85・86, Tab.9

木口・木口面コクチメン(木製品の木取り)125・126

国分コクフ(大阪府)出土の鬼瓦72—(26)

国名コクメイ(木簡に記されたもの, 須恵器・土師器の貢進国)

→阿波アワ・伊豆イズ・和泉イズミ・出雲イズモ・伊予イヨ・越前エチゼン・越中エッチュウ・近江オウミ・隠岐オキ・尾張オウリ・河内カワチ・紀伊キイ・讃岐サスキ・志摩シマ・周防スオウ・攝津セツツ・但馬タジマ・築前ナクセン・遠江トオトウミ・長門ナガト・播磨ハリマ・肥後ヒゴ・肥前ヒセン・備前ビゼン・常陸ヒタチ・備中ビッチュウ・備後ビンゴ・豊前フゼン・伯耆ホウキ・参河ミカワ・美濃ミノ・美作ミマサカ・若狭ワカサ

穀物コクモツ(木簡に記された食品名)

→米コメ56・57・59, 春米シヨウマイ59, 白米ハクマイ56・57・

59, 麦ムギ56, 大麦オオムギ56

コケシふう人形ヒトガタ(木製品の種類)115, PL.66-32

御在所ゴザイシヨ164・167

ござ目編みゴザメナミ(竹製品の編み方)132, Fig.47-9-11

櫃コシキ用のはめいた(木製品の種類)120, PL.69-78

五十戸家ゴジュウコヤ→サトノイエ(墨書土器の文字)149

御書所ゴシヨシヨ(平安宮の官衙)160

木工寮コダクミノツカサ(官衙の名)56

小杯コツキ(木簡に記された土器の器種名)56

コナラ・小櫛(木炭の原木)134

コナベ古墳コファン(奈良県)54

木葉庄痕コノハアツコン77・78-110・79

小林 清コハヤシキヨシ(研究者名)60-12

小林行雄コハヤシキヨ(研究者名)122-112

古墳コファン(遺跡の種類)

市庭古墳イチニワ53・54, PL.33-35, Fig.23 鷺之媛陵イワノヒメリョウ

ウワナベ古墳・コナベ古墳・神明野古墳シメノ54

墓山古墳ハカヤマ54, 平塚古墳ヒラツカ110

古墳時代土器の法量147

ごみ(鹿介)すて穴・ごみ処理用の土壇43・44・59・152・153・

158

村上天皇ムラカミ(10世紀の天皇)161

米コメ(木簡に記された穀物の名)

米の貢進国

阿波56, 伊予56, 近江56, 播磨59, 備前56・59, 備中57

米の種類

春米シヨウマイ59, 白米ハクマイ56・57・59

米の荷札 Tab.32

薦コモ(木簡に記された繊維製品)PL.36-47

古窯コヨウ

猿投山サナゲヤマ(愛知県)86・95・98,

寒風サムカゼ(岡山県)85

陶色スエムラ(大阪府)146

坤宮官コンダウカン(官衙の名)166-(5)

サ 材ゼイ→木製品の材

西安寺サイアンジ(大阪府)出土の鬼瓦72-226

西海道サイカイドウ56

西宮記サイダウキ(平安時代の文献)161・162

西宮サイダウ55・164

西宮宛アテ(折敷の墨書)123, PL. 71-112

西宮兵衛伝票ヒョウエダンビョウ(木簡の内容)55・164, PL. 36-91・92・100

西宮東一門ヒガシイチモン(木簡に記された門の名)PL.36-92

穀子サイコロ形木製品127, PL.73-161

齊食サイシヨク(墨書土器の文字)108, PL.61-78

西前坊サイゼンボク(平安宮の殿舎)163, Fig.59

西大寺サイダイジの軒丸瓦62, 62-(2), 西塔の瓦138

西隆寺サイリュウジ出土の木簡74-229

左右衛士府サウエジフ(官衙名)56

左右兵衛府サウヒョウエフ(官衙名)56

左右馬寮サウメリョウ(官衙名)140-112

佐伯門サエキモン(平城宮西面中央の宮城門)2

左衛士府サエジフ(官衙名) 左衛士府関連の木簡12・17石・58・

139, PL.40-1886

左衛士府を左勇士衛サウユジエと改名58

左衛門陣サエモンジン(平安宮建春門の別称)160

坂田寺サカタテラ(奈良県)5BST SG100の土器(飛鳥Ⅱ) 別表5

魚サカナ(木簡に記された食品名)

→赤魚アカウオ, 鰻鱈魚-荒鰻魚アラガツオ, 宇波加ワハカ, 鰻魚ウオ, 鯖サバ, 佐米サメ, 須須岐ススキ, 多比タイ, 鮎フナ, 麻須マス

作業場サギョウジョウ153

柵サツ(遺構の種類名) 柵を堀ヘイと改称21

析島サクシマ(愛知県の島の名) 贊ニエ荷札56, PL.37-371

ざくり(紡織具の名)118

朔平門サクヘイモン(平安宮の門の名)160・162, Fig.60

酒サケ(木簡に記された食品名)の荷札Tab.32

造酒司サケノフカサ(官衙の名)2, 163・165, Fig.59

匙形サジガタ木製品118・129, Tab. 13, PL.68・69・71

匙形木製品の部分名称 柄頭エガシラ・頸部ケイブ・先縁・側縁・身ミ118・129

雑木ザツボク(木炭の原材)133

五十戸家サトノイエ(墨書土器の文字)149

猿投山古窯サナゲヤマコヨウ(愛知県)の製品86・95・98

讃岐サスキ(木簡に記された国名) 調塩荷札56

鯖サバ(木簡に記された魚の名) 伊子中男作物旧鯖イヨチュウナン

サクモツフルサバ荷札56, PL.38-361, 越中調荷札57, 越中中男作物荷札56, PL.38-357

佐原 眞サハラマコト(研究者名)74-28

佐波理サハリ(銅・錫などの合金)容器143, Fig.50, 模倣土器148, Fig.50

石田古墳(静岡県)・観音塚古墳(群馬県)・金鈴塚古墳(千葉県)・法隆寺・横大道古墳(広島県)の佐波理鏡と土師器(飛鳥Ⅰ) 別表5

左兵衛府サヒョウエフ(官衙名)55・164, 左兵衛府の詰所ツメシヨ164

寒風古窯サムカゼコヨウ(岡山県)の製品85

佐米サメ(木簡に記された魚の名)56, 佐米背割セワリ・楚割セウカリ・ツワリ PL.37-367・371

左右衛士府サウエジフ →サウエジフ(官衙名) 56

左勇士衛サユウジエ(官衙名) 左衛士府の改名)58

左右兵衛府サウヒョウエフ →サウヒョウエフ(官衙名)56

左右馬寮サウメリョウ →サウメリョウ(官衙名) 140-112

皿サラ(土器の器種名) 別表6

須恵器の皿

皿A 83・87・148, PL.47-221, 皿B 83・87・94・95・98, PL.48-293, 皿Bの蓋83・87・94, PL.48-291, 皿C 83・87・94・95, PL.47-226, 皿D 94・95, PL.53-412

土師器の皿

皿A 79・87・93・94・96・98, PL.45-32, PL.57-1, 皿B 79・93, PL. 45-30, 皿C 79・93・94, PL.45-43

土師器皿の構成142, 土師器皿の刻線文108・109, PL. 62-85・86

緑釉陶器リョウユウトウキの皿100

盤サラ・パン(墨書土器に記された土器の器種名)

研盤ケンパン・スズリサラ103, PL.57-1, 土盤ツチサラ104, PL.57-1'

養盤ヨウパン107, PL. 60-53

皿Bの個体数の数え方76

Ⅲ群土器→第Ⅲ群土器

沢村 仁サワムラマサシ(研究者名)60-(2)・62-(3)

三彩サンサイ

三彩鬼瓦71・72, COLOR PLATE 2-1, PL. 44-1

三彩陶器99・145, COLOR PLATE 2-2, PL. 56-1,
壺A蓋99

三叉サンサトチ(窯カマ道具の名)99・100

3手法(土師器の調整手法)75

三重圏文サンジュウケンモン軒丸瓦60, PL.41

三代実録サンダイジツロク(平安時代の文献)161

三坊サンボウ(平安宮の華芳坊カホウボウ・桂芳坊ケイホウボウ・蘭林坊ランリンボウ)160

シ 詩歌シイカ56, 万葉仮名で書いた歌57

塩シオ(木簡に記された食品名)56, Tab.2

塩請求票 セイキムヒョウ PL.36-196, 塩支給票シキユウヒョウ56

調塩荷札 尾張・紀伊・讃岐・周防・備前・参河56, PL. 38

紫香楽宮シガラキノミヤ(745年の宮)152

瓷器シキ(施釉陶器)148

職院シキイン(官衛名)161

職曹司シキノウシ(官衛名)161・162

職御曹司シキノミツウシ(官衛名)161・163, Fig.59

式乾門シキケンモン(平安宮の門)160

支脚シキヤク形の部材(木製品の種類)124, PL.72-125・126

直盧ジキロ(宿所)161

仁寿殿ジジュテン(平安宮の建物)162

侍従所ジジュウドロ(平安宮の官衛)163

C手法シーシエホウ(土師器の調整手法)75・143

史生シショウ・シセイ(官職名)59, PL. 40-1943

史跡シセキ

指定範囲の拡大2・3, 東張り出し部分の追加指定2, 特別史跡1

自然釉シゼンユウ 85・86・98

七条山シチジョウヤマ(奈良市)出土の土器100

漆冠シヤカン 39

仕丁シチョウ・ツカイノヨボロ59

指頭圧痕シトウアツコン(土器面にのこる痕跡)75

篠島シノシマ(愛知県)の島 賛ニエ赤魚荷札56, PL.37-364,

賛佐米ニエノサメ荷札PL.37-367 cf. 析島サケレマ

シボリメ・絞目(土器成形で生じた痕跡)93

嶋シマ(墨書土器の文字)108, PL.62-80

志摩シマ(木簡に記された国名) 調製アヅビ荷札56・57

神明野シメノ古墳(平城宮建設で破壊された古墳)54, PL.33の下,
神明野古墳の植輪110

下総シモウサ(木簡に記された国名) 調製海藻荷札56, PL. 37-400

者シヤ(墨書土器の文字)105, PL.58-10

杓子シヤクシ形木製品119・129, PL.68・69, Tab.14

汁杓子シルシヤクシ・飯杓子メシヤクシ119

杓子の部分名称 頸部ケイブ・折曲点セッキョクテン・先縁シエン・身ミ 111・119・125・129

尺度シヤクド →基準尺キジュンシヤク・計画尺ゲイカクシヤク・建物
の総長ソウチョウ・天平尺テンビョウジャク・柱間寸法ハシラマ
シボウ

煮炊具シヤスイブ・ニタキグ76, Tab.5

杓シヤク(墨書土器の文字)105, PL.58-8

斜行溝シヤコウミヅ →溝SD503・SD536・SD2084・SD2093

沙僧シヤウ(墨書土器の文字)107, PL.60-55

斜放射暗文シヤホウシヤンモン(暗文の種類)75・144 cf. 正放射暗文
儒ジュ(墨書土器の文字)104, PL.57-2

周シユウ(墨書土器の文字)105, PL.58-10

修シユウ(瓦の刻印の文字)74, 修の意義74-29, cf. 理
修理司シユウリシヤシユリシ(官衛名)74-29

重圏文軒瓦ジュウケンモンノキガワラ 重圏文軒瓦の年代138

重圏文軒丸瓦60・62, PL.41-1・2, Fig.24

重圏文軒平瓦66, PL.43-1, Fig.27

周濠シユウゴウ(古墳の周囲にめぐらした濠)54

周濠掘削工事用の排水溝(SD503) 29・54

習書シユウショ(木簡にみられる文字の手習い)58・105, PL.39

十字形ジュウジケイ木製品127, PL.73-160

収納施設シユノウシセツ(倉庫内部の付設構造物)155

SX521(SB520に付設)30, PL.5-2, 8-3,

SX541(SB540に付設)34, PL.12・13

主葉餅シユカヘイ(官衛名)56

酒器シユキ104

寿永ジュエイ(12世紀の年号)160

呪具ジュブ(木製品の用途)113

宿所シユクショ161

主水司シユスイシ・モイトリノツカサ(官衛名)166

拾介抄シユウガイショウ(平安時代の文献名)160

修理司シユリシ(官衛名)74-29

修理司長官・次官74-29

10尺等間トウマ151・Fig.54

10尺等間の方眼地刺ホウガンジワリ 151・152・156, Fig.54

10尺等間方眼地刺にしたがわない153・154

呪符ジュフ104

主馬シユメ(墨書土器の文字)1140

主馬寮シユメリョウ(官衛の名)140-12

珠文縁シユモンエン(軒瓦の縁に珠文をめぐらした縁)67

叙位除目の儀ジョイジモフノギ161

舟ショウ(墨書土器の文字)107, PL.60-57

丈ショウ(墨書土器の文字)105, PL.59-16

小円板ショウエンバン(木製品の種類)126, PL.73-152-154

貞元ジョウゲン(10世紀の年号)162

上水ジョウスイを流した施設166

正倉院ショウツウイン 鬼瓦72-20, 銀器Fig.50, 銀器と瓷器シキ
と須恵器との類似146, 別表5, 宝物143, 正倉院文書166-(6)
正倉院にある須恵器第II群土器146

召喚状ショウカンジョウ(木簡の内容)56, PL.36-55

小凝ショウギ・イギス(木簡に記された海藻の名)

中男作物荷札56, 参河調付札57

焼成ショウセイ 須恵器の杯ツキの身と蓋とを重ねて焼成83

漸統ショウトウ(中国の人名)103

浄瓶ショウヘイ(須恵器の器種名)94, PL.51-395

春米ショウマイ(木簡に記された米の種類)59

聖武天皇ショウム(8世紀の天皇)156・157

小右記ショウユウキ(平安時代の文献)162

承和ショウワ(9世紀の年号)167

続日本紀シヨクニホンキ56

食品ショクヒン・食用品ショウヨウヒン(木簡に記された品物)

→貝 胎貝イガイ・鮑アワビ

→海藻 小凝イギス・海松ミル・若海藻ワカメ・紫菜ムラサキ
ノリ

→穀物 米コメ・春米ショウマイ・白米ハクマイ・麦ムギ

→魚 赤魚アカウオ・宇波加ワハカ・堅魚カブオ・鯖サバ・佐米

サメ・須須岐スズキ・多比タイ・鮎フナ・麻須マス

→調味料 鼓クキ・塩シオ・酢ス・末醬マッショウ

→その他 蘇甲嵐ウラ・脂キタイ・水母クラゲ・酒サケ・波奈
佐久ハナサク・鮫マムシ

植物 ショクフブ

研磨材ケンマザイ 木賊トクサ111・120

広葉樹コウヨウジュ(木製品の材料)125・127

針葉樹シンヨウジュ(木炭の原木)133

墨書土器に記された植物名関連の漢字 菊キク107・栗クリ
106, 桑クワ105

木簡に記された植物名 瓠ヒサゴ56・57, COLOR PL.1-

木炭の原木 樗カシ・樗ツスギ・小楢コナラ133・134, 檜ヒノ
キ・松マツ133

木製品の材料 檜ヒノキ112・115-120・125, 樺カバ・カンバ
121-123・130

編物その他の材料 竹132・瓠ヒサゴ56・57・ホウキグサ・藁
ワラ132

書庫 ショコ160・162

食器 ショッキ(土器のうち皿・杯など供膳用の浅い器)76・81・85,

Tab.5

新羅シラギの瓦の絵と比較103-105

尻塞シリフタギ(木簡に記された扉金具の名)59, PL. 40-2083

汁杓子シルシヤクシ(木製品の用途)119

真シン(墨書土器の文字)104, PL. 58-5

塵芥シンカイ(ごみ)処理の穴→ごみすて穴43・152・153

神亀ジンキ(8世紀の年号)43・136・156・157・158

神亀木簡13・56・57・59・139, PL. 40-2083, Tab.2

神護景雲ジゴケイウン(8世紀の年号)74-29

人事ジンジ(墨書土器の文字)79・104, PL. 58-7

身舎シンシャ→モヤ(=母屋)155

心心距離シンシンキョリ(柱などの部材中心同士の距離, 建物
の中心同士の距離)151

信等シントウ(墨書土器の文字)79, 105, PL.59-11

人物画ジンブツガ 麗描土器の画108, PL.62-84, 留め針の墨
画114, PL.65-14

心持材シンモチザイ135-137

心墨シンズミ35-137 Fig.16

針葉樹シンヨウジュ(木炭の原木)133

ス 酢ス(木簡に記された調味料の名)108, Tab. 32

(墨書土器に記された調味料の名)PL.61-77

水瓶スイビョウ(須恵器の器種名)86・94・95, PL.53-404, 別
表6

(木簡に記された器種名)56

末スエ(扇の部分名称)112

末スエ(柱根底面に記された墨書)35-137

須恵器スエキ(土器の種類名)

SE715の須恵器96・97

SE2128の須恵器98

SK820の須恵器81-86, PL. 47-50, Fig.35

SK2101の須恵器87・90

SK2102の須恵器96

SK2113の須恵器90

SD2110の須恵器98

SD2126の須恵器98

SB501の須恵器98

SB960の須恵器99

Q地区整地層の須恵器90

須恵器の岩石学的分析147

須恵器の技法・手法75

当板アナイタの同心円文84, 掻き目カキメ83, 絞り目シ
ホリメ93, 叩き目86・96・99, 火燵ヒダスキ81・83, 撫
でナデ76, 二段構成95-29・144, ロクロ撫で76

須恵器の器種 別表6

甕カメ 甕A 86・96, PL.50-334, 甕B86・94・96・
99, PL.49-331, PL.54-447, 甕C 86・90

皿サラ 皿A 83・87・148, PL.47-221, 皿B 83-
85・87・94・95・98, PL.48-293, 皿B蓋 83
-85・87・94・144, PL.48-291, 皿C 83・
87・94・95・98, PL.47-226, 皿D 90・94・
95, Fig.38-375

浄瓶ジョウヘイ94, PL.51-395

水瓶スイビョウ86・94・95, PL.53-404

双耳壺ソウジコ・ソウジツボ94, PL.52-399

高杯タカツキ94, PL.53-414

杯ツキ 杯A 81・83・85・87・94・95・98・105・107
・108・144・148・163-164, PL.47-201・
204, 杯B 81・83・85・87・94-96・98・105
・107・108, PL.48-279

杯B蓋82・83・85・87・94・95・105・144,
PL.48-268

杯C 83・94・95, PL.47-227, 杯E 84・
94, PL.47-231

杯の激減145, 杯の小型化145, 杯の消長145

杯の身と蓋との対応82, Fig.35

土師器ハジキの杯を模倣した杯(=杯C)144

壺ツボ 双耳壺ソウジコ94, PL.52-399, 壺E108, 壺A
90・94, Fig.38-370, 壺A蓋86・90・94・95
・98, PL.51-389

壺E 86・90・94・108, PL.49-329, 壺G
90・94・95, PL.53-408, 壺L 86・94・95,
PL.49-318, 壺N 86, PL.49-321

その他の壺86, PL.49-320・328・330

鉄鉢チツバチ →鉢A

鉢ハチ 鉢A(=鉄鉢)90・94・96, PL.49-316
鉢E90, Fig.38-378

盤バン・サラ87・88・90, PL.89-361・362

平瓶ヒラカ・ヘイヘイ94, 別表6

蓋フタ →皿B蓋・杯B蓋・壺A蓋

椀ワン 椀A 84・87・96・148, PL.47-234, 椀B
148

須恵器の器種の規格性148・149, 器種の形態変化144

器種の消長144, 器種の分化148・149, 別表5

須恵器の蛍光X線ケイコウエキセン分析147, Fig.52

自然科学的研究147, 数量的変化145

須恵器第I群土器81-83 →第I群土器

ロクロの回転方向81-109

須恵器第II群土器81・83-84 →第II群土器

ロクロ回転方向84-119

須恵器第III群土器81・84・85 →第III群土器

ロクロ回転方向83-118

灯火器トウカキ109

同法量の須恵器と土師器 Tab.25

土師器との量的比率76・90, Tab.5

土師器を模倣した須恵器83, PL.47-227・228

比重と有孔度147
 法量の変化145, 別表5
 ロクロの回転方向81-114・83-118・84-119
 陶邑古窯スエムラコヨウKM22号窯須恵器との類似146, TK217号
 窯の土器(飛鳥Ⅲ) 別表5
 周防スオウ(木簡に記された国名) 調塩荷札56・57
 朱雀門スザクモン(宮城門の名) 2, 朱雀門地域の軒瓦60, Tab.21
 朱雀門下層の土器139・149-133
 図書寮ブショウヨウ(官衙の名)56・163, Fig.59
 煤ススの付着79・80・93・94
 須々岐スズキ(木簡に記された魚の名) 饗の荷札56
 硯スズリ101-103, PL. 55, 56
 硯の受皿(=研盤 硯をのせる皿)103, PL.57-1
 硯の種類
 亀形硯 カメガタケン の蓋 102, Fig.43, 圈足硯 ケンソク
 ケン101, PL.55-1-7・10, 双脚円硯 ソウキヤクエンケ
 ン103, PL.56-17, 台付円面硯 ダイツキエンメンケン101,
 PL.55-1-7・10-13, 杯蓋転用硯 ツキバタテンヨウケン
 ・杯蓋硯 ツキバタケン103・105, PL.58-10, 60-57, 踏
 脚硯 テイキヤクケン101, PL.55-11-13, Fig.42, 鳥
 形硯 トリガタケン102, PL.56-15, 鳥形硯 トリガタケン
 の蓋102, Fig.43, 宝珠硯 ホウシュケン102, PL.56-16
 硯の出土地点109-111
 硯の台(杯蓋硯の台に須恵器杯Bを使う)103, PL.56-18
 硯の蓋103・105, Fig.43
 杯を杯蓋硯の台とする103, PL.56-18
 杯蓋硯 ツキバタケン(杯蓋転用硯・杯B蓋を硯に転用)103・105,
 PL.56-18, 58-10, 60-57
 研スズリ(墨書土器の文字)105, PL.58-10
 研盤スズリサヲ(墨書土器の文字 硯をのせた受皿であることをし
 めす)103, PL.57-1・1'
 背割スワヤリ・セワリ・ソワリ 武蔵船餐57 → 楚割り
 ズボン(土器の人物画の服装)108, PL.62-84
 隅切瓦 スミキリガワラ(6685型式)68, PL.43-8, Fig.31
 墨刺 スミサシ(木製品の種類)116, PL.66-36

セ 背ヤ(刀形・刀子の部分名)115
 井セイ(瓦の刻印)66, (墨書土器の文字)106
 成セイ(墨書土器の文字)106
 整地土 セイナド23
 正丁 セイテイ56
 製陶具 トンボ148
 正殿 セイデン 153・167
 正方射暗文 セイホウシャアンモン(暗文の種類)75-116 cf.斜放射
 暗文
 西方官衙 セイホウカンガ地域の軒瓦 Tab.21
 西方建物群155
 西面築地 セイメンツイジ(SA505)14左右・24・151, PLAN3・9・
 10, PL.5-2・6, 7-1・2 雨落溝14左右
 西面築地付設暗渠(SX517-519) 24・51
 石製盒 セキセイゴウ(古墳時代の石製品)122-112
 関根真隆 セキネシンリュウ(研究者名)149-132
 関野 貞 セキノタダシ(研究者名)62-(3), 68-(2)
 攝津セツ(須恵器貢進国名)147
 施釉陶器 セウウトウキ145・146, PL.56
 鉛釉陶器 エンユウ99・145・146, 灰釉陶器 カイユウ146,
 三彩陶器 サンサイ145, 二彩陶器 ニサイ145
 施文方向 セモンホウコウ(文様をほどこす方向)87

0 ゼロ手法(土師器の調整手法)75
 千セン(墨書土器の文字)105, PL. 59-25
 埴セン74, 埴積基礎 センズミケン建物 3, 軒瓦Tab.21
 織維センイ 出土した織維関係遺物 網状漆製品(冠)39・132
 巻巻き ツルマキ・縄 ナワ132
 木簡に記された織維・織維製品
 縄 アシギメ・綾 アヤ・縹 ケチ56
 糸56・166, 朝キヌ56, 綿ワタ(黒綿・短綿)57
 泉橋寺センキョウジ(京都府)の軒瓦丸64-114
 穿孔センコウ(木製品の加工)
 錐キリによる穿孔126, 焼火箸穿孔126
 穿孔板センコウイタ(木製品の種類)126, PL.73-148-151
 尖底センテイ(土器の底の形)86

ソ 蘇ッ(木簡に記された乳製品の名)貢進札56
 層位ソウイ 遺構の層位的区別23
 造営ゾウエイ43 造営関係の木簡59・136・157, 造営関係のごみ
 (塵介) 処理59
 双脚円硯 ソウキヤクエンケン(硯スズリの種類)103, PL.56-17
 倉庫ソウコ 153・154・167
 SB520 30・155, SB540 34・152, SB555 31・154
 SB585 35・152, SB960 40・152
 収納施設をそなえる倉庫SB520 155, SB540 152
 蘭林坊ランリンボウの倉庫160
 造典福寺仏殿司ゾウコウフクジブツダンシ136
 造酒司ゾウシシ・サケノツカサ2, 絶対年代157, 同地域の軒瓦Tab.
 21
 平安宮の造酒司163・165
 双耳壺ソウジコ・ソウジツボ(須恵器の器種名)94
 草書ソウショ(書体)105
 相対強度比ソウタイキョウドヒ(須恵器の物理的性質)147
 相対年代ソウタイネンダイ 遺構の相対年代23・50-52
 増築ゾウチク30
 総柱ソウバシラ(柱筋のすべて柱がたつこと)31
 鎌形ソウガタ・ヤジリガタ(木製品の種類)115, PL. 66-29
 鎌形の部分名称 逆刺カエリ・茎ナカゴ・麗被ノカツギ115,
 長須鎌115
 底ソコ(土器・木器の部分)
 高台コウダイ(削り出し高台・貼り付け高台)146, 尖底センテ
 イ86, 平底ヒラソコ77・144, 丸底マルソコ77・80・144
 折敷ナシキの底版122, 曲物マゲモノ容器の底版121
 礎石ソセキ25・27
 礎石据えつけ痕跡22, 礎石据えつけ掘形ホリカタ22・31
 礎石の挿入ソウニユウ155, 礎石抜き取り痕跡22, 礎石抜き取
 り穴22, 礎石の根石ネイシ22・31・36
 礎石建物(礎石の上になつ建物)21・153
 SB555 31, PLAN7, PL.10-3, 11-1, SB575 25,
 PLAN4, PL.3-1, 15-1・2・4, SB590 36・152,
 PLAN11, PL.14-3, SB600A・B 36・152, PLA
 N9・11, PL.14-2, SB875 39, PLAN16, PL.26
 -2, SB2181 37, PLAN4
 掘立柱建物ホツテバシラクサモノを礎石建物に改造(SB520)21
 ・30, Fig.14
 礎盤・礎板ソバン(掘立柱の下におく部材)35-112, 47
 素文緑ソモンエン(軒瓦の外周に文様のないことをしめす)68
 楚割りソワリ・スワヤリ 背割りセワリ 武蔵国船餐フナノエ57

タ 田タ(鏡書ヘラガキ土器の文字)108, PL.62-81

- 太々(墨書土器の文字)105, PL.59-26
 陀々(墨書土器の文字)105, PL.59-18
 多比タイ(木簡に記された魚の名) 若狭發荷札PL.37-399
 第I群土器ダイイチゾンドキ(須恵器・土師器それぞれの群別)
 須恵器第I群土器81・87・94・95・96・98・146, COLOR
 PLATE 2-2-左
 皿A 83・87, PL.47-221, 皿B 83・87・95, PL.
 48-293, 皿B 蓋83・87, PL.48-291, 皿C 83・
 87, PL.47-226, 杯A 81・87・95, PL.47-201,
 杯B 81・87・95, PL.48-279, 杯B 蓋82・84・87
 ・95, PL.48-268, 杯C 83, PL.47-227, 椀A
 87, Fig.37-351
 第II群土器との差 杯B84
 第I-III群以外の須恵器食器 皿B 85, 皿B蓋85, 杯A
 85, 杯B 85・87, 杯B蓋85・87, 杯C 87
 土師器ハジキ第I群土器90-92, 94・147
 第1次内裏ダイイチゾンドキ156
 第1次内裏地域の軒瓦Tab.21
 第1次朝堂院ダイイチゾウドウイン3・156
 第I期ダイイチキ(瓦編年名, 内裏北外郭造営期名)
 第I期の瓦Tab.21
 第I期の内裏北外郭150・164, 内裏北外郭造営の絶対年代
 157, Tab.31, 第I-1期・第I-2期151
 対鸕文タイノウモン(文様名)103-105
 大宮大寺ダイカンダイジツ式の軒平瓦ノキヒラガワラ137
 待賢門タイケンモン(平安宮の門名)163
 太皇太后タイコウタイコウ161
 大極殿ダイゴクテン156
 第III期ダイサンキ(瓦編年名, 内裏北外郭造営期名)
 第III期の瓦Tab.21
 第III期の内裏北外郭155・167, 第III期の絶対年代157,
 Tab.31
 第III群土器ダイサンゾンドキ(須恵器の群別)
 須恵器第III群土器84・95・98・146, COLOR PLATE
 2-2-右
 皿B95, PL. 53-413, 皿B蓋84, 杯B83, PL.48-
 314, 杯B蓋84・87, PL.48-312, 盤A90, Fig.38
 -380
 大當会ダイジョウエ160
 大臣の宿所(直廬ジキロ)161
 題箋ダイセンの軸59
 大膳ダイセン(墨書土器の文字)107
 大膳職ダイセンシキ(官衙名)56・163-165
 大膳職地域の軒瓦10・135・136・156, Tab.21, 軒瓦出土数60
 大膳職地域の編年157, Tab.31
 大内裏図ダイダイリツ161
 台付円面硯ダイツキエンメンケン(硯の種類)101, PL.55-1-7,
 10-13
 團足硯ケンソクケン・踏脚硯テイキョクケン101
 大同タイドウ(9世紀の年号)157
 第II期(瓦編年名, 内裏北外郭造営期名)
 第II期の瓦Tab.21
 第II期の内裏北外郭151, 第II期の絶対年代157
 第II-1期151, 第II-2期152
 第II群土器(須恵器・土師器それぞれの群別)
 須恵器第II群土器83, COLOR PLATE1-2-上
 皿B 84, PL.48-308, 皿B蓋84, PL.48-305, 杯
 A 83, PL.47-229, 杯B 83, PL.48-299, 杯B
 蓋84・87, PL.48-305, 杯E 84, PL.47-231, 鉢
 A 86・90, PL.49-316
 椀A 84, PL.47-234
 須恵器第II群土器の第I群土器との違い84
 土師器第II群土器147, 147-30
 オ2次内裏ダイリ156・164「オ2次内裏」を地域名として使用156
 オ2次内裏の造営時期136, オ2次内裏の存続期間167
 オ2次内裏と内裏北外郭150・157
 オ2次内裏地域の軒瓦10, Tab.21
 オ2次朝堂院チョウドウイン3・156, オ2次朝堂院地域の軒瓦Tab.21
 大宝タイホウ(8世紀の年号)139
 平門タイラモン・ヘイモン(平安宮の門名)161, Fig.60
 内裏ダイリ
 平安宮内裏159-163, 内裏の出入162, 中重チュウジュウ159,
 Fig.59
 平安宮内裏北方の官衙159-163, 平安宮内裏北方の官衙
 と平城宮内裏北外郭との比較163
 平城宮内裏
 オ1次内裏・オ1次内裏地域156, オ1次内裏地域の瓦
 Tab.21, オ2次内裏・オ2次内裏地域156, オ2次内裏
 地域の瓦Tab.21
 内裏外郭ダイリガイカク8・9, cf.内裏内郭ダイリナイカク
 内裏北外郭ダイリキタガイカク8
 内裏西外郭を画する築地(SA 8171) 150, 西外郭出土の鬼瓦
 72, Fig.33
 内裏東外郭を画する築地(SA 705) 150・154, 東外郭の軒瓦
 70-25, 135・156
 内裏東面・西面外郭築地の中央にある建物(SB 1000)41
 内裏北外郭ダイリキタガイカク8
 内裏北外郭官衙カンガの終焉158・167, 内裏北外郭官衙の性
 質164-167, 内裏北外郭官衙の絶対年代156-158, 内裏北外
 郭官衙とオ2次内裏の関係156内裏北外郭官衙と平安宮内裏
 北方官衙との比較163, 内裏北外郭官衙の変遷52・150-155
 内裏北外郭出土の軒瓦60-71
 内裏北外郭軒瓦各型式の比率70, 内裏北外郭軒瓦出土数
 60, 内裏北外郭の内裏の軒瓦の比較70
 内裏北外郭の建物24-49, 内裏北外郭建物の変遷150-155
 内裏北外郭の建物の造営期150, 造営期の絶対年代157,
 造営期オI期150, Fig. 53, Tab. 26, 造営期オII期151,
 Fig. 55-57, Tab. 27-29, 造営期オIII期155, Fig.
 58, Tab. 30
 内裏供奉官司ツブカンシ(天皇の日常生活をささげる官衙)163・166
 内裏相当建物ソットタテモノ156
 内裏築地回廊ツイジカイロウ27, 内裏築地回廊に先行する施設28
 内裏東面築地回廊(SC156) 28
 内裏北面築地回廊ホクメンツイジカイロウ(SC 060)15右・16右
 18右・19右・27, PL. 2-4, 内裏北面築地回廊北雨落溝キタ
 アマオチミノ27, Fig.12, 内裏北面築地回廊北雨落溝出土の
 三彩鬼瓦72
 内裏南面築地回廊ナンメンツイジカイロウ(SC 640)28
 内裏内郭ナイカク8・9 cf.内裏外郭ガイカク
 内裏南面築地回廊ナンメンツイジカイロウ(SC 640) 28
 内裏西外郭ニシガイカクを画する築地(SA 8171) 150, 西外郭出土
 鬼瓦72, Fig.33
 内裏に水を導く溝27・166
 内裏東外郭ヒガシガイカクを画する築地(SA 705)150・154, 東外郭
 の軒瓦70-25
 内裏北面築地回廊ホクメンツイジカイロウ(SC060)15左右・16右・18

- 右・19右・27, PL. 2~4, 内裏北面築地回廊北雨落溝キタア
マオチミノ10・27, Fig.12, 北雨落溝出土の三彩鬼瓦サンサイイ
ニゴワラ72, COLOR RLATE 2-1
内裏盛所ダイリモロドコロ(墨書土器の文字)39・95・107・158・165・
167, PL.60-63
高岳親王タカオカシンノウ(平城天皇オ3 皇子)167
高蔵地区タカクラナク(大阪府陶邑スエムラ古窯)の須恵器146
高瀬要一タカセヨウイチ(研究者名)156-(4)
高坏タカツキ(木簡に記された容器の名)56
高杯(土器の器種名) 別表6
須恵器の高杯94, PL.53-414, 土師器の高杯80・93・96,
PL.51-103, Fig.49, 土師器高杯の成形法94
高橋美久=タカハシミクニ(研究者名) 140-110
高床倉庫 タカユカツウコ31
炊女タキメ・カシギメ(墨書土器に記された文字)107, PL.61-71
竹岡政治タケオカセイジ(研究者名)7
竹製品 タケセイシン 竹製編物132, Fig.47
大宰府ダサイフ56, 大宰府で書いた木簡56
但馬タジマ(木簡に記された国名) 餐荷札56, 若海藻餐荷札57
太政官タジョウカン(官衙の名) 3
太政大臣タジョウダイジン161
卯目タツキメ(瓦・須恵器の成形・調整手法の名)
瓦の卯目62・73, 須恵器の平行卯目86・96, 斜行卯目96
卯目を消す99
伊達宗泰ダテムネヤス(研究者名)42-(13)
建物タテモノ・建物遺構(表示記号はSB)
SB116 (オ2次調査)雨落溝アマチミノ出土の土器(平城宮VI)
別表5
SB489 (南面築地付属門)14右・25・51, PLAN3, PL.7-2
・3, Tab.27
SB497 14左・29・50・52・154, PLAN 2, PL.9-3,
PL.35-3
SB498 14左右・15右・29・50・52・154, PLAN 2, PL.
10-3, Tab.29
SB501 14左・32・36・50~52・151・152・158, PLAN 3,
PL.6, Tab.27・28, SB501柱穴出土の土器98
SB502 14左右・32・50・51・52・155, PLAN 3, PL.6,
Tab.30
SB508 33・50・52・151, PLAN 9, PL.14-2, Tab.26
SB509 33・151, PLAN 9
SB510 33・51・52・152, PLAN 9, PL.8-2
SB515 34・155, PLAN 9
SB520 14右・15右・30・155, PLAN 8, PL.5-2, Tab.
30
SB523 14右・34・50・152, PLAN 9, PL.8-2, Tab.
28・29
SB525 34, PLAN 9
SB540 15左・34・36・51・52・151・152, PLAN10・12,
PL.12・13, Tab.27~29
SB545 30, PLAN 2, PL.9-2
SB550 15右・31・155, PLAN 7, PL.10-3, Tab.30
SB555 15左右・31・154, PLAN 7, PL.10-3, Tab.
28・29
SB575 (南面築地付属門) 15左・25・26・51・152, PLA
N4, PL.3-1, 15-1, Tab.27
SB585 15左・18左右・35・50~52・151・152, PLAN 11・
12PL.14-1, 16-1, Tab.27,
SB590 15左・36・51・52, PLAN 11, PL.14-3, Tab.
28・29
SB600 15左・36・37・50~52, 151~153, PLAN 9・11,
PL.14-2, Tab.28・29
SB633 39, PLAN 12, PL.13-1
SB708 16左右・46・154, PLAN 18, PL.29-3, Tab.29
SB710 16左右・46・51・154, PLAN 18, PL.29-3,
SB717 16右・46・51・154, PLAN 18, PL. 28-3,
Tab.27
SB730 16左右・47・50~52・154, PLAN 18, PL.27-2・3,
Tab.28
SB750 47・155, PLAN 18, Tab.30
SB760 47, PLAN 18, PL.32-1
SB765 16左・47・51・52・154, PLAN 18, PL.29-2,
Tab.29
SB780 16左右・47・50~52・155, PLAN 18, PL.27-
2, Tab.30
SB795 16左右・47・50~52・154, 158, PLAN 18, PL.
27-2,
SB805 16左・48・51・52・154, PLAN 18, PL. 32-1,
Tab.28
SB808 16左・48・51・52・154, PLAN 18, PL. 32-1,
Tab.28
SB809 48, PLAN 18, PL.32-2
SB815 16左・48・51・52・154, PLAN 18, PL. 32-3,
Tab.28
SB818 49・51・155, PLAN 18, PL.29-1, Tab.30
SB845 16左・39・155, PLAN 17, PL.26-1, Tab.30
SB875 16右・39・50・153・158, PLAN 16, PL.26-2,
Tab.29
SB930 19左・39・51, PLAN 15, Tab.29
SB935 40, PLAN 5, PL.20-1
SB960 17左右・40・50~52・151・152, PLAN 13, PL.
18-2, 19-1, Tab.27
SB970 17左右・40・50・52・153, PLAN 5・13, PL.18
SB977 40, PLAN 13, PL. 18
SB980 17左右・40, PLAN 13, PL. 18-2
SB1000 17左右・41・50・52・151, PLAN 13, PL.18・
19, Tab.26
SB1015 17左・18左・41・50・52・152・153, PLAN 13,
PL.18, Tab. 28
SB1055 17右・18左・41・50・52・155, PLAN 14, PL.
18-1, Tab.30
SB1080 17左右・41・50・52, PLAN 13, PL.18,
150・151
SB1085 17左・18左・42・50・52, PLAN 14, PL.18-1,
Tab.28
SB1135 17右・19左・42・50・153, PLAN 14, PL.17-3,
Tab.29
SB1140 17右・42・50, PLAN 14, PL.21-2
SB1165 17右・42, PLAN 14, PL.19-1
SB1182 42, PLAN 14
SB2131 19左右・45・50・52・150・151, PLAN
16, PL.23-2, Tab.26
SB2140 19左・45・50・52・155, PLAN 16, PL.23-2,
Tab.30
SB2148 45, PLAN 16
SB2170 19左右・45・50・155, PLAN 14, PL.17-3,
Tab.30

SB2181 18左右・37・153, PLAN4, Tab.29
SB2190 18右・37・50・52・153, PLAN11, PL.16-1,
Tab. 28

SB2225 18左右・37, PLAN12, PL.16-3, Tab.27

SB2245 45, PLAN12, PL.16-2

建物の改築36, 建物の間隔36・37・151

建物の規模の算出方法22

建物の種類

板倉 イタクラ31, →倉庫ソウコ153・154・167

→礎石建物ソセキタテモノ SB489・SB520・SB555・SB575・

SB590・SB600・SB875・SB2181

中心建物チュウシンタテモノ 151-153

→廂付建物ヒサシキタテモノ SB501・SB502・SB520・

SB525・SB600・SB717・SB730・SB765・SB815・

SB1000・SB1015・SB1055・SB1085・SB1135

→掘立柱建物ホツタテバシラタテモノ SB497・SB498・SB

501・SB502・SB508・SB509・SB510・SB515・SB

520・SB523・SB525・SB540・SB545・SB550・SB

585・SB633・SB708・SB710・SB717・SB730・SB

750・SB760・SB765・SB780・SB795・SB805・SB

808・SB809・SB815・SB818・SB845・SB930・SB

935・SB960・SB970・SB977・SB980・SB1000・SB

1015・SB1055・SB1080・SB1085・SB1135・SB1140・

SB1165・SB1182・SB2131・SB2140・SB2148・SB・

SB2170・SB2190・SB2225・SB2245

掘立柱建物を礎石建物に改造(SB520) 21・30

棟門ムネモン→ムナカド (SB489)25, (SB575) 25・26

床張りユカバリ建物32

建物の軸線ジヤセン35-①②, 建物の心点距離シシンキョリ25

建物の総長ソウチョウ51, 建物の増築ゾウチク30

建物の部分プラン 大棟・押ネガミ・鎌羽アラバ138 →礎石

ソセキ27, 扉トビライ(金具)59, →柱ハシラ垂木タルキ59,

→廂ヒサシ, 辺付ヘンツケ, 間仕切マジキリ45, 馬道メドウ

33・39, 床東ユカヅカ22・32・48

建物の分布密度大154, 分布密度小155

建物の方位21, 建物方位のかたより41

田中重久ヲナカシゲヒサ(研究者名)64-①②

田中 塚ヲナカミダク(研究者名)75-①③

田辺昭三ヲナベシヨウゾウ(研究者名)146-②

玉手門タマテモン(平城宮西面の宮城門)2

為ヲメ(墨書土器の文字, 道・金と組み合わせ文字)104, PL.58-4

ダラクオケ(茨城県のおけの民俗例)120

段頸ダンアゴ(軒平瓦の頸の種類)66・68, PL.43-2・4-6・8-10

団扇ダンセン・ウチワ112-①

男子立像(木製品の墨画)114, PL.65-14

単弁蓮華文タンペンレンゲモン(軒丸瓦の内区文様)62 cf.複弁蓮華文

チ 知ナ(墨書土器の文字)105, PL.59-20

成前ナクセン(木簡に記された国名) 調範荷札56

(須恵器貢進国名)147

地区制ナクワリ 区ク・地区チク・地点チナチン8, 別表4解説

中央建物群(内裏北外郭オⅢ期の建物群)155, Fig.58

中和院チュウカイン(平安宮の建物)159・160・162

中宮職チュウグウシキ161・163

中宮の出産161

柱穴チュウケツ・ハシラアナ22

柱根チュウコン22・32・41, 柱根底面の墨書・墨線34

中重チュウジュウ(平安宮内裏の中核部分)159・160, Fig.59

中重外チュウジュウゴイ163, 中重皇居160・161

柱状木製品チュウジョウ127, PL.73-162・163

中心飾り(軒平瓦の文様の部分名)66・66-(19)・67・68・136

中心建物内裏北外郭オⅠ期151, オⅡ期152・153

中心葉チュウシンヨウ(軒平瓦の文様の部分名)66・66-(19)・67・68

中男作物チュウナンサクモツ(未成年男子のおさめた税)

伊予・越中・遠江・伯耆・参河・美作56

中務省チュウムシヨウ→ナカツカサシヨウ 56・163

中門チュウモン(=宮門, 平城宮の門の種類)164, cf.外門・内門

調チョウ 調付札ツケマダ・調荷札ニフダ56-58, PL.38

伊豆の堅魚・越前の波奈佐久・越中の鯖・隠岐の海松ミル・

尾張の塩57, 紀伊の塩・讃岐の塩56, 志摩の蝦アソビ・周防

の塩56・57, 筑前の綿56, 遠江の堅魚57, 若狭の塩59, 肥後

の綿56・57, 備前の塩56

調チョウ(墨書土器の文字)108, PL.61-76

標口チョウ口(木簡に記された扉金具の名)59, PL.40-2083

長官を兼務チョウカンケンム 166

調査チョウサ

調査関係者7 調査期間9, Tab.1, 調査経過9-13

調査次数

第10次調査1・9・10・14・15, Fig.3, Tab.1

第11次調査1・10・11・15, Fig.4, Tab.2

第13次調査1・11・12・16-18, Fig.5, Tab.2

第20次調査1・12・13・18-20, Fig.6, Tab.2

第82-7次調査13・20, Fig.7

第95-6次調査13・20, Fig.8

調査地域8, 調査地域の区分8, 調査地域の標高8

調査地域の立地23,

調査日誌14-20

調査面積9, Tab.1

長秋記チョウシユウキ(平安時代の文献)160

調整チョウセイ(成形後の土器加工)土師器143・144

朝夕料チョウセキリョウ164

朝堂院チョウドウイン

朝堂院の軒瓦138, →第1次朝堂院・第2次朝堂院156

手斧チョウナ(木製品の工具) 手斧による加工35-①, 111・130

調味料チョウミリョウ(木簡に記された食品) 鼓クキ57, PL.37-

404

塩シオ56, 57, PL.36-196・321, 酢メ108, 末醬マシヨウ

56・165

長和チョウワ(11世紀の年号)162

貯蔵器チョゾウキ(土器の用途の大別)76・86, Tab.5

ツ 築地ツイジ(堀ヘイの一種だが便宜的に独立してあつかう)21

北外郭北端東西築地(SA8220)20右・26, Fig.8

推定東面築地トウメン26, PLAN6・17

推定北面築地ホクメン20右・26, PLAN16

西面築地サイメン(SA505) 11・14左右・15右, 24, 50-52

PLAN3・9・10, PL.5-2, 6, 7-1・2

内裏西外郭を画する築地(SA8171) 24・29・31・51・52・

150, PLAN7

内裏東外郭を画する築地(SA705) 12・16右・18左右・26・

27・51・52・150, PLAN18, PL.28-2・3, 31-2・3

築地にとまなう暗渠アンキョ24・25・27・42・51

築地の改修33, →築地回廊ツイジカイロウ 築地の基底25, 築

地の痕跡27, 築地中軸線25, 築地の屋根瓦138, 築地付属の

門(SB489・SB575)25・26, PLAN3・4, PL.3-1, 7, 15

-1・2・4, 中区の四周をめぐる築地151, その廃絶155

- 南北築地(SA350) 10
- 南面築地 ナンメン(SA488) 11・14左右・15左右・17右・18右・19
左20右・25・51・52, PLAN3~6, PL.3・7・15・21~23
- 東区の西を画する築地(SA838) 26・155・PLAN17・18
- 築地犬走りイヌバシリ(築地とそれとともなう溝との間の空地) 24
- 築地回廊 ツイジカイロウ3・27
- 雨落溝27, 内裏東面築地回廊27, 内裏北面築地回廊(SC060)
15左・27・50, PLAN2~6, PL.2~4
- 築地寄柱ヨセバシラ(築地にとりつく柱) 16右・18右・25
- 把ツカ(→刀形カタナガタの部分名称) 115
- 杯ツキ(土器の器種名)
- 須恵器の杯
- 杯A 81・85・87・94・95・98・108・144~146・163,
PL.47~201
- 杯B 81・85・87・94~96・98・144, PL.48~279
- 杯B蓋 82・84・85・87・94~96・105~108, PL.48~
268
- 杯B蓋A形態82, PL.48~265, 杯B蓋B形態82, PL.
48~277
- 杯C 83・94・95, PL.47~227
- 杯E 84・94・98, PL.47~231
- 杯F(陶器スエムラ出土例) Fig. 50
- 第I群・第II群土器の杯Bの違い84
- 杯内面の同心円文84
- 杯の小型化145
- 杯蓋硯103・105・106
- 杯の人物画108, 杯の身と蓋の対応83, Fig. 35
- 土師器の杯
- 杯A 77・87・90・94・96・98・108・109・142・148,
PL.45~3
- 杯A・皿Aの口縁部A形態77・79, PL.45~1~3・32
- 杯A・皿Aの口縁部B形態77・79, PL.45~18・19・34
- 杯Aの構成142, 杯Aの分化145
- 杯B 77・87・92・94・96・105~107・142, PL.45~7
- 杯Bの個体数の数え方76
- 杯B蓋92, PL.51~84・85, Fig. 49
- 杯C 77・87・96・142・148, PL.45~37
- 杯Cと佐波理鏡146
- 刻線文をもつ杯108・109
- 杯ツキ(墨書土器の文字)106, 鸚鵡島杯104
- 杯蓋(木簡に記された容器名) 56
- 杯蓋硯ツキバタケン103~107
- 春米 ツキゴメ・ショウマイ(木簡に記された穀物名) 播磨59
- つけ木 ツケキ134
- 付札 ツケフダ(木簡の種類) 56, Tab. 32
- 図書寮 ブシヨリョウ(官衙名) 56
- 繫ぎ材 ツナギザイ(木製品の部材) 125
- 常宮 ツネノミヤ(東宮をさすらしい) 166, PL.40~1947
- 鐔 ツバ(刀形の部分名) 115
- 埴ツボ・カバシリノツキ・カン(木簡に記された容器名) 56
- 壺ツボ・コ(土器の器種名)
- 三彩釉陶器 サンサイユウ壺Aの蓋99, COLOR PLATE2~2
- 須恵器の壺 別表6
- 壺A 90・94, Fig. 38~370, 壺Aの蓋86・94・95,
PL.51~389
- 壺E 86・90・94・108, PL.49~329, 壺G 94・95~
29・90・94・95・144・145~24, PL.53~408, 壺L 86
・94・95, PL.49~318, 壺N 86, PL.49~321, 浄瓶
- ジョウヘイ94, PL.51~395, 水瓶 スイビョウ86・94・95,
PL.53~404
- 双耳壺 ツウジコ94, PL.52~399, その他の壺86, PL.49
~320・328・330
- 平瓶 ヒラカ86・94, PL.94, 別表6
- 土師器の壺 別表6
- 壺A 80, PL.45~45, 壺Aの蓋80, PL.45~44
- 壺Aの個体数の数え方76
- 壺A(旧称)=現鉢A・現鉢D80~112, 別表6
- 壺B(旧称鉢C) 80・80~113・93, PL.45~46・47, 別
表6
- 壺B(旧称)=現壺E 80~113, 別表6
- 壺E(旧称壺B) 80~113・93, PL.51~109, 別表6
- 壺(須恵器)の艶描(嶋) 108, PL.62~80
- 壺ツボ(下駄の鼻緒の孔)がかたよる128
- 壺錘 ツギキリ(錘の種類) 112
- 壺ツルでしぼる・巻く129, PL.77
- 壺巻き製品132, Fig. 47~5
- テ 丁タイ(墨書土器の文字) 105, PL.59~17
- 亭タイ(墨書土器の文字) 105, PL.58~10
- d手法 テーシューホウ(土師器の調整手法の旧称 b手法にふくむ)
- 貞信公記 テイシンコウキ(平安時代の文献名) 161
- 蹄脚硯 テイキョウケン(硯の種類の名) 101, PL.55~11~13
- 底部 テイブ・底ツコ(容器の底) 高台 コウダイ(削り出し高台・貼り
付け高台) 146, 尖底 センテイ86, 平底 ヒラソコ・丸底 マルソコ77
・144
- 提梁 テイリョウ(平瓶ヒラカの把手) 94・144
- 鉄ツツ(木簡に記された金属材料) 鉄の損量59, 鉄の実量59
- 鉄製刀子 テツセイトウスの柄115, PL.66~33・34
- 寺テラ(墨書土器の文字) 96・108, PL.62~83
- 天テン(墨書土器の文字) 105・106, PL.59~33
- 天応 テンオウ(8世紀の年号) 140
- 殿閣 テンカク(改称(平安時代)) 160
- 天慶 テンキョウ(10世紀の年号) 161
- 点線(墨画土器) 106, PL.62~42
- 天長 テンチョウ(9世紀の年号) 140・157・167
- 天長節 テンチョウセツ(墨書土器の文字) 163~131
- 天徳 テントク(10世紀の年号) 161
- 天皇 テンノウ(円融) 162, 後村上161, 聖武156・157, 仁明163
- 平城 ヘイセイ(上皇) 170
- 天平 テンビョウ(8世紀の年号) 43・49・136・156~158
- 天平尺 テンビョウシヤク22・23
- 天平木簡 モツカン13・49・56~59・138・139
- 天平勝宝 テンビョウショウホウ13・43・59・138・163
- 天平神護 テンビョウジンゴ~神護景雲 ジンゴケイウン木簡74
- 典薬寮 テンヤクリョウ(官衙名) 163
- 転用材 テンヨウザイ(木製品の材料) 119・126
- 天曆 テンリヤク(10世紀の年号名) 161
- 殿曆 テンリヤク(平安時代の文献名) 160
- ト 東トウ(墨書土器の文字) 106, PL.60~48
- 道ドウ(墨書土器の文字 金・道と組み合わせる文字) 104, PL.58
~4
- 東院 トウイン 2, 東院縫殿 スイドノ166
- 灯火器 トウカキ105・106・109, Tab.10
- 陶器 トウキ 鉛釉陶器 エンユウ96・99・145・146, PL.56, 灰釉陶
器 カイエウ96・99・146, PL.56, 三彩陶器 サンサイ99・145,

PL. 56, 二彩陶器ニサイ99・146, PL. 56
 東宮トウグウ(皇太子)160・163, (皇太子の居処)59・161・166
 道具瓦ドウガワラ71
 鬼瓦オニガワラ71~73, PL. 44, 鬘斗瓦ノシガワラ・面戸瓦メン
 ドガワラ71・73
 東西築地トウザイツジ
 →築地 北外郭北端築地(SA8220)・推定北面築地・南面築地
 (SA488)
 東西堀トウザイベイ
 →堀 SA486・SA511・SA514・SA526・SA612・SA631
 SA655・SA1045・SA7592
 東西溝トウザイミン
 →溝 SD534・SD890(上流斜行, 延長部分東西溝SD487)・S
 D910・SD922・SD990・SD1020・SD2093(上流斜行)
 ・SD2098
 同心円文ドウシンエンモン(土器成形の印板をうける当板アテイタの
 圧痕文)84・86・94・95
 刀子トウスの柄ニ115, PL. 66-33・34, 刀子の模倣115
 刀子の部分名称 柄頭エガシラ115, 柄元エモト, 腰コシ116・
 117, 茎孔ナカゴアナ116・117
 東・西前坊トウザイセンボウ(平安宮の宮衛の名)163, Fig. 59,
 東条トウジョウ(大阪府)出土の鬼瓦72-20
 道成寺ドウジョウジ(和歌山県)の軒平瓦68・3, 軒平瓦68-24
 唐招提寺トウショウダイジ(奈良市)講堂地下遺構の瓦, 138
 軒瓦の組み合わせ138, 軒九瓦60・64-(9)・12
 刀身トウシン(刀形の部分名称)115
 東大寺トウダイジ(奈良市)講堂出土の鬼瓦72-26
 西塔の鬼瓦72-26, 西塔の軒平瓦138
 東野治之トウノハルユキ(研究者名)58-(1)・(2)
 同範ドウハン(同じ鋳型による製品)60-(1), 鬼瓦72, 硯103
 東方建物群トウホウタテモノダン(内裏北外郭第Ⅲ期の建物群)155
 東面築地トウメンツイン26
 東面築地回廊27
 道路ドウロ39
 銅鏡ドウワン(佐波理の鏡)形の須恵器99, Fig. 40-470, 別表6
 遠江トオトウミ(木簡に記された国名)中男作物荷札56, 調整魚付
 札57
 土器トキ75-109 →黒色土器・→須恵器 スエキ・→土師器 ハジキ
 SB501の土器98, PL. 54
 SE715の土器 96, PL. 54・61
 SK820の土器 77-86
 SK870の土器 94・95, PL. 52・53-60
 SB960の土器 99, PL. 54
 SK2101の土器 87-90, Fig. 36・37
 SK2102の土器 96, PL. 60・62, Fig. 39
 SD2110の土器 98, Fig. 39
 SK2113の土器 90, PL. 51・52・60
 SD2126の土器 98, Fig. 39
 SE2128の土器 98, PL. 54
 Q地区整地層の土器 90, Fig. 38
 土器の器種 キシュ→須恵器 スエキ・土師器 ハジキ, 別表6
 土器の器種の消長と形態変化142-144
 土器の器種名変更78-(9)・79-(11)・80-(12)・82-(16)・86-(21)~24,
 別表6
 土器群 ドキグン 須恵器第I~III群土器146・147, 土師器第
 I・II群土器147
 土器の形態についての用語
 A形態 須恵器蓋の形 82・83・144

土師器杯の口縁部の形 77・79・87
 外傾 ガイケイ 口縁端面の形 77-(8)
 高台脚端面の形81
 内傾 ナイケイ 口縁端面の形77-(8)
 高台脚端面の形77-(8)
 B形態 須恵器蓋の形82・98
 土師器杯の口縁部の形77
 土器の構成76, Tab. 5, 92・Tab. 7, 別表6
 土器の種類 黒色土器146, →須恵器 スエキ・→土師器 ハジキ
 土器の製作技法の用語
 a~c手法75・87・143, Tab. 6・23, →d手法
 e手法78・78-110・79・143・144, Tab. 23 →f手法
 o~3手法75, 当板アテイタ圧痕の円心円文84, 一気につ
 くる95
 掻き目 カキメ83, 高台 コウダイ削り出し・高台貼りつけ
 146, 木ノ葉圧痕・木ノ葉手法75-(4),
 叩き目99, 同心円文84, 二段構成95・95-29, 144, 刷
 毛目 ハケメ77・80・93, 火押 ヒダスキ81・83, 篋削りヘラ
 ケズリ75, 篋磨きヘラミガキ75・75-(13), 撫でナデ76, ロ
 クロの回転方向81
 土器の製作手法の変化 須恵器143・144, 土師器143・144
 土器の部分名称75-109
 一般:口縁部・口縁端面・口縁部端面 底・底部・底部
 下端面, 高台・高台脚端・脚端面,
 壺・甕:器体・体部・口頸部・肩・把手
 蓋:頂部・縁部75-109
 土器の法量変遷, 別表5
 平城宮土器の編年の大別 →平城宮I~VII
 木賊トウサ(植物名)による木製品の磨研111・120
 土壇トウコウ(遺構の種類 穴・ピット 表示記号はSK)
 SK217(第5次調査)の壺L 95
 SK219(第5次調査)の土器(平城宮IV)139, 別表5, 黒色土器
 146
 SK234(第5次調査)の壺95
 SK609 15左・18左
 SK820 12・16左・17右・18左右・49・51・52・154・158,
 PLAN18, PL. 30, Fig. 22, SK820の瓦71, 土器
 (平城宮III)77-86・139, 別表5, 木簡55-58
 SK869 158
 SK870 16左右・17右・39・50, PLAN16, PL. 26-3・
 4
 SK820の土器(平城宮V)94・139・158・165, 別
 表5, 木簡58
 SK925 17左, PLAN15
 SK989 17右・51, PLAN15
 SK2100 19左右・43, PLAN6, PL. 25-1
 SK2101 13・19左右20左・23・43・51・52・158, PLAN
 5, PL. 25-1・2, Fig. 18
 SK2101の瓦 71, 土器87-90・139, 木簡59・
 166
 SK2102 13・20左・23・43・51・52・152・157・158,
 PLAN5, PL. 25-1・3, Fig. 18
 SK2102の瓦71・136, 土器96, 木簡59
 SK2105 19右, PLAN15
 SK2107 20右・43, PLAN15, PL. 25-1, 木簡59
 SK2108 19左, PLAN15
 SK2111 19右, PLAN15
 SK2113 44, PLAN15, 土器(平城宮V)90・139, 別表5

SK2119 19右, PLAN15

SK2130 19左・50

SK2159 19左

SK8221 20右

壁の焼けた土壁(SX801) 48・51・52・151, PLAN18,

PL. 31-4・5, Fig. 21

図書寮トシヨリヨウ→ブシヨリヨウ56

土層ドツク23・24, Fig. 9・10

トチ(窯道具カマドウグの種類名)99・100

把手トツチ 土器の把手80・87・98,

平瓶ヘイヘイの提梁テイリヨウ94

木製品の把手124

嵩口トビゲチ形木製品129, PL. 77-179・180, 部分名称 柄尻・柄元129

扉金具トビツカナグ(木簡に記された建築材)59

拳銃アゲカスガイ・銀カン・尻塞シリフタギ・腰□チヨウ□□59,

PL. 40-2083

富山弘基トミヤマヒロモト(研究者名)118-(8)

留め針トメバリ形木製品114・114-(2)・129, PL. 65, Tab. 12

鳥トリ 鶴ウ59・165, 鸚鵡オウム104

鳥の絵103・104・108・165, PL. 57-1・2, 鳥の餌入れエイロ104・165

鳥形トリガタ(木製品の形代カクシロの種類名)127

鳥形硯トリガタケン(硯スズリの種類の名)102, PL. 56-15

鳥袋トリバスマ(道具瓦の種類の名)62

トンボ(製陶具セイトウグの種類名)148

ナ 奈ナ(黒書土器の文字)106, PL. 59-28

内区ナイク(軒平瓦・軒丸瓦の文様区)

内傾ナイケイ(土器口縁端面の形態)77・77-(8)・78

(土器高台脚端面の形態)81

内匠寮ナイショウリヨウ・ウチノタクミノツカサ(官衛名)163・164,

Fig. 59

内膳司ナイゼンシ(官衛の名)56・59・164・165・167, PL. 36-47

(平安宮の官衛)159・160・162, Fig. 59

内掃司ナイゾウシ・ウチノカモリノツカサ(官衛の名)163-(3)

内蔵寮ナイゾウリヨウ・ウチノクラノツカサ(官衛の名)59・164・166

(平安宮)163・166, Fig. 59

内門ナイモン(=閤門コウモン、平城宮の門の種類)164, cf. 外門・中門

長岡京ナガオカキョウ・長岡宮

遷都167, 土器(平城宮VI)140, 別表5, Fig. 49, 壺G(須恵器)95-29・145-24

軒丸瓦60・60-(2)・64-04

中区ナク(内裏北外郭地域を3区にわけた1区) cf. 西区・東区

中区西半部の遺構32-37・151-153

中区東半部の遺構38-45・151-153

長屋敷ナガヤシキ(三重県)の軒平瓦68-24

長鮑ナガアワビ(木簡に記された貝の名)57, cf. 鮑

中務省ナカツカサシヨウ(八省の1つ)56・163

中務省の官衛

内蔵寮ウチノクラノツカサ59・163・164・166, Fig. 59

内匠寮ウチノタクミノツカサ163・164, Fig. 59

縫殿寮スイドノリヨウ164

中山修一ナカヤマシユウイチ(研究者名)60-(2)

中村 浩ナカムラヒロシ(研究者名)146-29

中村雄三ナカムラユウゾウ(研究者名)118-(9)

長門ナガト(木簡に記された国名)替荷札56, 程海藻ワカメ57, PL.

37-401

長刀坂古墓ナギナタザカ(京都府)の佐波理器Fig. 50

鈍ナク(木製品加工用の工具)111

納言ナゴノの宿慮シキロ161

梨本ナシモト(平安宮の官衛)163, Fig. 59

撫で・なで(須恵器・土師器の調整手法の名)76

難波宮ナニワキョウの瓦の年代観との相違138

鍋ナベ(土師器の器種名)A 94, PL. 52-115

生蛭ナマムシ(木簡に記された食品名)56

鉛釉ナマリユウ→エンユウ・エンユウトウキ 99

浪貝 毅ナミカイタクシ(研究者名)60-(2)

奈良山の瓦窯4, 52号窯(奈良市)138

成明親王ナリアキヲ(=村上天皇)161

縄目ナワメ(瓦の調整にもちいた印板の縄目)68・73

南北築地ナンボクツイジ

→築地、推定東面築地・西面築地(SA505)・内裏西外郭を画する築地(SA8171)・内裏東外郭を画する築地(SA705)・東区西を画する築地(SA838)

南北堀ナンボクヅベ

→堀 SA544・SA570・SA586・SA618・SA630・SA726・SA754・SA799・SA950・SA965・SA2216・SA2264・SA2268・SA6905・

南北溝ナンボクミヅ

→溝 SD568・SD569・SD572・SD822・SD831・SD890・SD1900・SD2084(部分的に斜行)・SD2110・SD2700(東大溝)SD3035(22次北)・SD3765(27次)

南面築地ナンメンツイジ(内裏北外郭南面築地(SA488)14左右・15左右・17右・18右・19左右・20右・25・51, PLAN3-6, PL. 3・7・15・21-23

ニ 替ニエの付札ツケマダ・荷札56-59, 165, Tab. 32

阿波の若海藻56, PL. 37-403, 出雲56, 但馬の若海藻57, 長門程海藻ワカメ56・57, PL. 37-401, 備前56・57, 常陸・斐河の赤魚56, 武蔵57, 若狭56

II 群土器 → 第II群土器

二彩陶器ニサイトウキ99・145

西市交易銭ニシチコウエキセン(木簡の記載)56

西区ニシク(内裏北外郭地域を3区分した1区)

西区の遺構29-31, 154, Fig. 13

錦部岡万呂ニシゴリベノオカマロ(木簡に記された人名)56

二重園線文縁ニジュウケンセンモンエン(瓦の文様の名)66

2手法(土師器の調整手法の名)75

煮炊具ニツキ(土器の用途大別)76, Tab. 5

日本紀略ニホンキリョク(平安時代の文献名)160

2本潜りニホンクグリ(編み方の種類)132

日本後紀ニホンコウキ(平安時代の文献)132

2本寄せニホンヨセ(編み方の種類)161

女登町・女備町ニョジマチ(平安宮の官衛)162

二段構成ニダンコウセイ(土器成形の手法)95・95-29・98

人形ニンギョウ→ヒトガタ

忍冬文ニントウモン(軒平瓦の文様名)66

仁和ニナ(9世紀の年号)161

仁明天皇ニンミョウ(9世紀の天皇)163

又 縫殿スイドノ(木簡に記された官衛名)166, 166-(5)

縫殿寮スイドノリヨウ(官衛名)161-164

縫殿陣スイドノジン163

ネ 根石 ネイシ(礎石ツセキを固定するためにその下にすえる石)14

石・15左右・22・27・31・36根石の下から柱挿形を検出30

根来寺ネゴロテラ(和歌山県)の泥鋸ドロゴテ118-(9)

鼠刃鋸ネズミバギリ(木製品の加工工具)112・117

念ネン・オモウ(墨書土器の文字 君・我と組み合わせ文字)104, PL. 58-4

年号ネンゴウ

→延長エンテウ・延暦エンリョク・嘉承カショウ・元慶ゲンギョウ
・寛平カンビョウ・弘仁コウニン・寿永ジュエイ・貞元ジョウゲン
・神亀ジンキ・大同ダイドウ・大宝タイホウ・長和ナョウウ・天
応テンオウ・天慶テンギョウ・天長テンチョウ・天徳テントク・天
平テンビョウ・天平勝宝テンビョウショウホウ・天平神護テンビョ
ウジンゴ・天曆テンリョク・宝亀ホウキ・養老ヨウロウ・霊亀レイ
キ・和銅ワドウ

粘土紐ネンドヒモの合せ目(土器成形法)77・80

ノ ノ(墨書土器の文字)106

軒瓦ノキガワラ(軒平瓦と軒丸瓦)

軒瓦の組み合わせ70・71, 135・157

6012-6572型式138, 6015-6572型式(難波宮)138

6133-6732型式138・156, 6225-6663型式71・135
136

6311-6304-6664型式70・70-25・135・136・156-158

6313-6314-6666-6685型式70・135・136・138

軒瓦の絶対年代・製作年代71・135・136・156

軒瓦と伴出木簡71・136-138

軒瓦の出土量60

軒瓦の分布, 別表4

→軒平瓦ノキヒラガワラ

→軒丸瓦ノキマルガワラ

軒隅ノキスミ(建築の部分名)138

軒平瓦ノキヒラガワラ66-69

小型軒平瓦 6666型式 別表3, 6685型式68, PL. 43, Fig. 30, PL. 43, Fig. 27

軒平瓦の型式66-68, PL. 43, 別表3

6572型式66・66-08, PL. 43-1, Fig. 27

6641・6642・6643・6646型式(藤原宮式) 別表3

6655型式66, Fig. 27

6663型式 66・66-08・09・135, PL. 43-2, Fig. 27

6663型式と木簡伴出71

6664型式 67・135・136, PL. 43-3-6, Fig. 28・29

中心飾り66-09(67-21), Fig. 28, 木簡伴出・年代71-136

6665型式 別表3

6666型式と木簡伴出・年代71・135・136, 別表3

6667・6668・6681・6682型式 別表3

6685型式66-09・68-68-23・135・138, PL. 43-7, Fig. 30

6685型式の隅切瓦 スミキリガワラ68, Fig. 31

6688型式 別表3

6689型式66-09・68-68-23, PL. 43-9・10, Fig. 30

6691型式66-08, 木簡伴出・年代71, 別表3

6694・6702・6710型式 別表3

6719型式68・68-24, PL. 43-11

6721型式71・135・136, 別表3

6732・6763型式 別表3

6791型式(旧称) 現6710A型式

軒平瓦の刻印 コアイン 井66, 北66

軒平瓦の部分

瓦当ガトウ66, 平瓦部ヒラガワラ68・74

軒平瓦の文様

→花頭カトウ・唐草文カラカサモン・均整唐草文キンセイ・團
線文ケンセンモン・珠文ジュモン・素文ソモン(無文)・中心
飾チユウシンカザリ・中心葉チユウシンヨウ・変形忍冬文ヘンケ
イニントウモン・偏行唐草文ヘンコウカラカサモン66

軒平瓦の文様区

外区ガイク・上区ジョウク・内区ナイク

軒丸瓦ノキマルガワラ60-66

大型軒丸瓦 6225L・6304L・6282L・6308L・6133L・137・
138, PL. 41, Fig. 48

小型軒丸瓦 6313型式 138, PL. 42, 6314型式 138, PL.
42, 小型軒丸瓦の用途138, 別表4解説

軒丸瓦の型式60-66, PL. 41・42, 別表2

6012型式60・60-(2), PL. 41-1, Fig. 24

6015型式(難波宮)138

6018型式60, PL. 41-2, Fig. 24

6130型式 別表2

6131型式71, 別表2

6133・6134型式 別表2

6135型式・62・62-(3), PL. 41-3・4, Fig. 24

6225型式62・62-(4)・(5)・135, PL. 41-5・6, Fig. 24・48

6227型式 別表2

6233・6235・6273・6275・6278・6279・6281型式(藤原
宮式) 別表2

6280型式 改称 →6308N型式

6282型式 62・62-(6)・71・135・136, PL. 42-8,

Fig. 25・48

6296型式(従来A・B2種にわけていたものが同范と判明
したため, 今回からA種のみと改める) 別表2

6301型式 62・64-(7)・(8)・71, PL. 42-9, Fig. 25

6303型式 別表2

6304型式 64-(9)・64・71, PL. 41-10, Fig. 48

6307型式 64・64-08, PL. 42-11, Fig. 25

6308型式 64・64-09-10・138, PL. 42-13, Fig. 26

6311型式 64・64-09・71・136・138, PL. 42-14,
Fig. 26

6313型式 64・66-08・71・135・136, PL. 42-15,
Fig. 26

6314型式 64・66-07・135・136, PL. 42-16・17,
Fig. 26

6320型式 別表2

軒丸瓦の外区文様ガイクセキヨウ60・62・64

鋸歯文キョシモン・團線文ケンセンモン・珠文ジュモン・線
鋸歯文センキョシモン・凸鋸歯文トツキョシモン・蓮子レンジ

軒丸瓦の刻印 北64

軒丸瓦の部分

瓦当部ガトウ62, 玉縁ヤマヅナ73・丸瓦部マルガワラ62

軒丸瓦の内区文様

間弁カンベン62・64, 単弁蓮華文タンベンレンジモン62, 中
房チユウボウ半球状の蓮子66, 複弁蓮華文フクベンレンジモ
ン60・62, 蓮子レンジ, 中央の蓮子が大きい62

鋸ノコギリ(木製品加工の工具)111・113・128・130・131,

鋸の歯幅111

契斗瓦ノシガワラ(道具瓦の種類名)73

鑿ノミ(木製品加工の工具)123・124・128・130

憲明親王ノリアキラ(10世紀の親王)161

憲平親王ノリヒラ(10世紀の親王)161

ハ 刃ハ(利器の部分)115

買取バイシュウ 平城宮跡の買取・国有化4

バイバス予定地の調査2

葛山古墳ハカヤマコフシ(大阪府)54

莫バク(墨書土器に記された文字)105, PL.59-12

白米ハクマイ(木簡に記された穀物名)荷札56-58

阿波アワ・伊子イヨ・近江オウミ・備中ビツチュウ,
備前ビゼン56

刷毛目ハケメ(土器の調整手法名)77・80・93

箱ハコの蓋(木製品の種類の名)111

刃先ハサキ(利器の部分名)116

箸ハシ(木製品の種類)120・129

土師器ハジキ(土器の種類)

SE715の土師器96

SE2128の土師器98

SK820の土師器77-80

SK2101の土師器87, Fig.36

SK2102の土師器96, PL.60・62

SK2113の土師器90・94, PL.51・60

SD2126の土師器98, Fig.39

土師器の技法・手法75・78・92・143・144・Tab.6

a~c手法75・87・143, Tab.6・23, →d手法

e手法78・78-(10)・79・143・144, Tab.23,

→f手法

0~3手法75

木ノ葉匠痕・木ノ葉手法75-(4)

刷毛目ハケメ80, 鹿磨きヘラミガキ75・75-(3)

土師器の器種 別表6

→甕カメ 甕A 80・87, PL.46-56, 甕B 80・87, PL.
46-50,

甕C 80・94, PL.50-57, 甕X 80, PL.50-58

→皿サヲ皿A 79・87, PL.45-32, PL.57-1, 皿B 79
・93, PL.45-30, 皿B蓋79, PL.45-29, 皿C
79・93, PL.45-43

→高杯タカツキ 高杯A 80・93, PL.51-103, Fig.49

→杯フキ 杯A 77・87, PL.45-3, 杯B 77・87, PL.45
-7

杯B蓋92, PL.51-84・85, 杯C 77・87, PL.
45-37

→壺フボ 壺A 80, PL.45-45, 壺Aの蓋80, PL.45-44

壺B 80, PL.45-46・47, 壺B(旧称)80-
(13)

壺E 80-(13)・93, PL.51-109

鍋ナベA94, PL.52-115

鉢ハチ 鉢A80-(12), 鉢B 79, PL.45-4・5, 鉢
C(旧称)80-(13)

鉢D80-(12)

盤パン 盤B93・94, PL.52-116

蓋フタ 皿Bの蓋79, PL.45-29, 杯Bの蓋79, PL.
51-84・85

壺Aの蓋80, PL.45-44, 把手付双孔大型蓋80・
87, PL.46-48

→椀ワン 椀A 78・87, PL.45-10, 椀C 78・92, PL.
45-40, 椀D79, PL.45-13

土師器の器種の規格性148, 器種の形態変化142-143

器種の消長・法量変化142-143, 器種の分化148

土師器と須恵器との比率76・90・Tab.5

土師器の第I・II群土器92・94・147, Tab.8

土師器を模した須恵器83・144

土師器の製作に従事した女についての木簡165

同法量の土師器と須恵器Tab.25

柱ハシラ 柱の呼称27-(9)

側柱ガワバシラ27・33, 総柱ソウバシラ31, 柱根チュウゴン東柱ツ
カバシラ(=床東ユカツカ)妻柱フマバシラ35・柱穴ハシラアナ22,
柱に関連する穴21・22, 柱位置の決定法35-(1), 柱の小型
化153, 柱痕跡ハシラゴンセキ22, 柱底面の墨線34・35, 柱通り
ハシラドオリ51, 柱抜き痕跡・柱抜き穴22, 柱抜き穴出
土の土器98・99・158・柱掘形ハシラホリカタ21, 柱掘形埋土
ウメツナ158, 柱掘形埋土出土の土器98, 柱割りハシラワリ51, 柱
間ハシラマ寸法22・51, 間柱マバシラ48, 床東ユカツカ→東柱ツ
カバシラ, 寄柱穴ヨセバシラアナ16右・18右・25

柱間ハシラマ(柱と柱の間の寸法)

等間トウマ, 10尺柱間154, 8~9尺柱間154, 柱間寸法22
・23・51, 柱間寸法不揃い30・33, 短い柱間152

外法寸法ツトノリスンボウ27

柱割りハシラワリ36

鉢ハナ(土器の器種名)別表6

須恵器の鉢 鉢A 86・94・96, PL.49-316, 鉢E 90-108,
Fig.38-378

土師器の鉢 鉢A(旧称壺A)80-(12), 別表6, 鉢B 79, P
L.45-4・5, 鉢C(壺Bの旧称)80-(13),
鉢D(旧称壺A)80-(12), 鉢E 別表6

八幡観音塚ハチマンカンノヅカ(群馬県)の佐佐理器Fig.50

鼻緒ハナオ孔128, 前壺マエツボのかたより・鼻緒によるずれ128

波奈佐久ハナサツ(木簡に記された食品)57

埴製食ハニセイゴウ(古墳時代の土製品)122-(12)

埴輪ハニワ54・110, 朝顔形埴輪・円筒埴輪110

神明野古墳・平塚古墳の埴輪110

浜田耕作ハマダコウサク(研究者名)103-(34)

針ハリ 筵針ムシロバリ116, 木針キバリ116・129

針書ハリカキ116, 針書の円弧130

針金ハリガネ116

貼付高台ハリツケコウダイ(陶器の高台の作り方)146

播磨ハリマ(木簡に記された国名)春米ショウマイ荷札59

(須恵器の貢進国名)147

梁行ハリスキ(建物の梁のかかる方向, 梁間ハリマ)

梁行総長22・23, cf. 桁行ケタスキ

盤パン・サヲ(土器の器種名)

須恵器の盤87・90・94・95,

土師器の盤93・94, PL.52-116, Fig.49

墨書土器の文字 研盤スズリサヲ103, PL.57-1, 土盤ハジサ
ヲ104, PL.57-1, 糞盤107, PL.60-53

木製品の盤123, 盤の用途は椀などの承盤ウケザラ123

番長パンチョウ(木簡に記された官人)59, PL.40-1943

番付パンヅケ45

ヒ ヒヒ(墨書土器の文字)105, PL.59-20

美ビ(墨書土器の文字)105, PL.59-13

B形態ビーケイタイ(須恵器の蓋の形態)82・84・98・144
(土師器の杯の口縁部形態)77・79・87

b手法バイシュホウ(土師器の調整手法)75・87

飛雲ヒウンの墨画103

飛炎(熾)垂木ヒエンタルキ(木簡に記された建築部材)59

槍扇ヒョウキ(木製品の種類名)112・113, PL.63・64-2

檜扇の部分名称 嬰ウナメ・末スエ・骨ホネ112, 113, 伝世の
 檜扇112-(1), 檜扇形木製品113, PL.64-4
 東ヒガシ(瓦の寛書文字)68・74, Fig. 34
 (墨書土器の文字)106, PL. 60-48
 東大溝ヒガシオノミゾ(SD2700)163
 東区ヒガシク(内裏北外郭地域を3区分した1区) cf. 中区・西区
 東区の遺構46-49, 154
 東三門(木簡に記された門の名) PL.40-100, COLOR RL.1-1
 東朝集殿ヒガシチヨウシュウゲン(平城宮の建物)3・138
 東常宮ヒガシノツネノミヤ(東宮のことか)166
 火鑽白ヒキリウス(木製品の種類名)129, 火鑽白に似る126
 肥後ヒゴ(木簡に記された国名)調締荷札57, PL. 38-284
 瓢・瓢ヒサゴ(木簡に記された植物名)56・57
 廂ヒサシ(庇) cf. 身舎モヤ
 廂付建物ヒサシツキタテモノ・廂をもつ建物
 一面廂イナメンヒサシの建物
 SB525 34, SB717 46, SB765 47, SB
 815 48, SB1015 41・152, SB1055 41
 二面廂ニメンヒサシの建物
 SB502 32, SB520 30・155, SB600B 153
 SB730 47, SB1085 42
 三面廂サンメンヒサシの建物 SB1135 42
 四面廂シメンヒサシの建物 SB501 32・152, SB1000
 41
 比重ヒジユウ 須恵器の比重147
 肥前ヒゼン(木簡に記された国名) 調締荷札57
 備前ビゼン(木簡に記された国名)水母クラゲ57, PL. 37-398,
 鯨クワ56・57, 調締荷札56, PL. 38-321, 贅荷札56, 白
 米荷札56・59, (須恵器貢進国名)147
 大樺ヒダスキ(須恵器を焼成した際に生じたワラの痕跡)84・85
 常陸ヒタチ(木簡に記された国名)贅荷札56
 左ヒダリ(埴センに記された文字)74
 左回り(須恵器ロクロの回転方向)81-(14), 84-(19)
 備中ビッチュウ(木簡に記された国名) 大井鞆 PL.38-312, 鞆
 56, 白米荷札56・57
 人形ヒトガタ(木製品の種類名)115
 檜ヒノキ(木製品の材料)24・35・45・112・115-120(木炭の材料)
 133, →檜皮ヒワダ
 紐ヒモ126, Fig.47
 平田善文ヒラタヨシフミ(研究者名)133
 檜皮ヒワダ 19右・20右・43・44・59・157・158
 檜皮葺き屋根の棟瓦ムネガワラ138
 兵衛ヒョウウ(役人の職名)55・164, PL. 36-91
 左右兵衛府56, 兵衛の詰所55, 兵衛朝夕料チヨウセキリョウ詰求
 伝票164, 兵衛府ヒョウエフ55, 兵衛府の召喚状56・164
 平瓶ヒラカ(須恵器の器種名)86・94・144 高台付提梁144
 平瓦ヒラガワラ 桶巻作り73, 平瓦部ヒラガワラ(軒平瓦の部分名)
 74
 平釘ヒラタギ(木簡に記された釘の種類)59
 平塚古墳ヒラツカ(奈良市)の埴輪110
 広ヒロ(墨書土器の文字)107
 広口(瓦の刻印)74, Fig.74
 広場ヒロバ 153
 備後ビンゴ(木簡に記された国名) 鞆・調付札56・57

葺石フキイシ54
 複弁蓮華文フクベンレンゲモン(軒丸瓦の文様)62・64
 部材ブサイ(木製品の部品)123・130・131
 切り欠きをもつ部材124, PL.72-122・123, 支脚形シキヤフ
 ガタの部材124, PL.72-125・126, 繋ぎ材ツナギザイ125, 把
 手トッチ124, 納穴ホヅアナのある部材123・130, PL.72-118
 藤沢一夫フジサワカズオ(研究者名)64-(15)・104-(10)
 藤原宮フジワラキユウ(694-710年の宮)
 藤原宮式の瓦60・136, 別表2・3
 軒瓦60・71・136・157, 軒平瓦66, 軒丸瓦62, 土器139・
 147別表5, 折敷122, 刀形115
 藤原穂子フジワラノホシ・忠平タダヒラ・基経モトツネ・師輔モロス
 ケ・良相ヨシスケ(平安時代の人名)161
 藤原武智麻呂(奈良時代の人名)156-(2)
 付設構造物フセツコウゾウブツ SX521 14右, 30・155, SX541
 15左・35・152
 豊前ブン(木簡に記された国名)短縮57, 調締荷札56・57
 蓋フタ三彩陶器の蓋, PL.56-1, 漆器の蓋, PL.71-117,
 須恵器の蓋
 皿Bの蓋83-85, PL.48-291, 杯Bの蓋82・84, PL.
 48-268, 杯Bの蓋と身の対応Fig.35, 碗の蓋102, 碗
 に転用した蓋103・105, PL.58-10, 壺Aの蓋86・90,
 PL.151-389, 蓋内面の同心円文84, 蓋のA・B2形態
 82, A形態82・95, B形態82・98, 蓋A・B(旧称)82
 -(17)
 土師器の蓋
 皿Bの蓋79, PL.45-29, 杯Bの蓋79, PL.51-84・
 85, 壺Aの蓋80, PL.51-389, 把手付双孔大型蓋80・
 87, PL.46-48
 曲物容器マガモノヨウキの蓋111, 120・121・130, PL.69・
 70
 木製品の蓋120・130, PL.69-76-81
 緑釉陶器の蓋100
 札形マダガタ木製品126, PL.73-145-147
 鮎フナ(木簡に記された魚の名)付札木簡56, 武蔵背割ツワリ付
 札56・57
 槽フネ(木製品の種類の名)130
 賦役令フキリョウ56
 分化ブンカ 器種の分化147
 墳丘フンキョウ(市庭古墳)54

へ 瓶ヘイ(須恵器の器種名)98
 堀ヘイ(遺構の種類 表示記号はSA 旧称は堀 築地フイジは
 堀の一種だが, 便宜的に分けてよ)21
 →築地・東西築地・東西堀・南北築地・南北堀
 SA486 11・13 14左・15左・16右・18右・28・50・150
 ・151・156, PLAN3-6, PL.2, 15-1, 21-3, 22,
 23-1
 SA488 →築地(南面築地), 17右・25
 SA505 →築地(西面築地), 24
 SA511 33, PLAN9
 SA514 33, PLAN9
 SA526 14右・34・50, PLAN9, PL.8-2
 SA544 30, PLAN2, PL.9-2
 SA570 11・15右・31・154, PLAN7, PL.11-3
 SA586 (SB585にとりつく)35, PLAN4
 SA612 37, PLAN9, PL.14-2
 SA618 (SB585にとりつく)35, PLAN11

SA630 13・15左・18左・20右・38・51・52・152・155,
PLAN4・12・PL.16
SA631 15左・37・51・52・152, PLAN12, PL.13-1
SA655 (第73次調査)28
SA705 →築地(内裏東外郭を画する築地)16右・18左右
・26・51・52・150, PLAN18, PL.28-2・3,
31-2・3
SA719 47
SA726 46, PLAN18
SA754 46, PLAN18
SA760 47, PLAN18, PL.32-1
SA799 46, PLAN18
SA838 →築地(東区の西を画する築地)26
SA950 17右・40・155, PLAN13, PL.18
SA965 40, PLAN5
SA1045 41, PLAN14, PL.19
SA2216 45, PLAN12, PL.16-2
SA2264 37, PLAN11, PL.16-2
SA2268 37, PLAN11, PL.16-2
SA6905 (第78次北調査)28
SA7592 (第73次調査)28
SA8171 →築地(内裏西外郭を画する築地)24・29・31・51
・52・150, PLAN7
SA8220 →築地(内裏北外郭北端東西築地)20右, Fig. 8
欄サマを塼と改称21
目隠塼メカクシペイ(入口の前におく塼)33・152
平安宮ヘイアンキョウ
平安宮古図159~163・166
平安宮内裏北方の官衙159~163, 平安宮内裏北方の官衙と
平安宮内裏北外郭との比較163
平安宮建物にかんする文献
九曆キユウレキ161, 玉葉ギョウヤク160, 西宮記サイクウキ
161・162, 小右記ショウユウキ162, 長秋記チョウシュウキ
160, 貞信公記テイシンコウキ161, 殿啓テンリヤウ160,
日本紀略ニホンキリョク160・162・167, 御堂関白記ミドウ
カンパクキ162, 和名類聚抄ワミョウルイジュウシヨウ160
平行線印目ヘイコウセンタキメ(須恵器の調整痕跡)86・96
平城宮ヘイジョウキョウ・ヘイゼイキョウ
平城宮I~Ⅵ(平城宮土器の暫定的編年区分)Tab. 22, 別
表5
平城宮Iの須恵器98・144・145, 平城宮I土器の年代
139
平城宮I土器と木簡件出139, 平城宮Iの土師器
142~144
平城宮IIの土器96・98・128・139・158・165
平城宮IIの須恵器144・145, 平城宮II土器の年代
139, 平城宮IIの土師器142~144, 平城宮IIの二
彩・三彩陶器145
平城宮IIIの土器87・90・98・99・128・158・165
平城宮IIIの須恵器144・145, 平城宮III土器の年代
139, 平城宮IIIの土師器142~144, 平城宮IIIの三彩
陶器・縁軸陶器145
平城宮IVの土器
平城宮IVの黒色土器146, 平城宮IVの須恵器144・
145, 平城宮IV土器の年代139, 平城宮IVの土師器
142~144
平城宮Vの土器90・94・98・99・128・158・163-(3),
165・167

平城宮Vの須恵器144・145, 平城宮V土器の年代
139, 平城宮Vの土師器142~144
平城宮Ⅵの土器167
平城宮Ⅵの須恵器144・145, 平城宮Ⅵ土器の年代
140, 平城宮Ⅵの土師器142~144
平城宮Ⅵの土器96・158・167
平城宮Ⅵの黒色土器146, 平城宮Ⅵの須恵器144・
145, 平城宮Ⅵ土器の年代140, 平城宮Ⅵ土器の土
師器142~144
平城宮跡
調査面積3, 調査の進展2・3
調査指導委員会5, 調査地域8, 保存整備5
平城京左京一条三坊の軒丸瓦60
八条三坊の硯蓋102, 土器60
平城京の土器143
平城京の発掘調査3・4
平城上皇ヘイゼイジョウコウの御在所156・157・167
平城陵54
平門ヘイモン(平安宮の門)161, Fig.60
碧ヘキ(墨書土器の文字)105
籠書文字ヘウカキモジ 瓦74, 塼セン74, 土器108
へら切り痕(須恵器の底面にみられる痕跡)81・83
へら削り(土師器・須恵器の調整技法)79
へら磨き(土師器の調整技法)79・80・143・148
変形忍冬文ヘンテイニシトウモン(軒平瓦の文様)66, cf. 均整唐草文
偏行唐草文ヘンコウカラサモン(軒平瓦の文様)66
弁区ベンク(軒丸瓦の内区)64
退付ヘンツケ(建築部材の名)59
ホ 房・坊ボウ160
房ボウ(墨書土器の文字)107
方眼地割ホウガンジワリ151・152, にしたがわれない建物153
箒ホウキ 草箒クサホウキ・麁箒ワラボウキ132
箒の部分名称 柄エ・本モト132
宝亀ホウキ(8世紀の年号)74-(29)・138・139・165
伯耆ホウキ(木簡に記された国名) 膳キタビ調付札57, 中男作物
荷札56
ホウキグサ132
方形の溝(SD2126) 152・153
放光寺ホウコウジ(奈良県)の軒丸瓦62-(2)
放射状暗文ホウシャジョウアンモン(暗文の種類)75・80・144
斜放射文シヤホウシャモン・正放射文セイホウシャモン75-(6)
宝珠硯(硯の種類)102
宝珠彩のつまみ(鉛釉陶のつまみの形)99
紡錘車ボウスイシャ(木製品の種類)118・166・PL. 67-44・45
宝相華ホウソウゲ(墨画の題材)103
法隆寺ホウリョウジ(奈良県)
金堂柱のクサビ125, 東院礼堂35-(1), 東院地下遺構掘立柱
の心礎35-(1), 献納御物佐波理院148, 別表5, 軒丸瓦62,
62-(2)
黒門ボクモン(墨書土器の記号)108, PL. 59-37
墨画ボクガ 墨画土器103~108, 165, 木製品に顔の墨画115
墨書ボクシヨ 井戸枠板の墨書19右, 柱根底面の墨書35-(2)
木製品の墨書113・119・126
墨書土器ボクシヨドキ103~108, PL. 57-61
墨書土器の文字 →(養所アツモドコロ)・為イ・井イ・一イチ
・歌ウタ・念オモウ・葉カ・化カ・可カ・我ガ・戎カイ・
金カネ・観カン・木キ・菊キク・吉キチ・君キミ・客キヤク

・九キユウ・金キン・君クン・毛ケ・結ケツ・研ケン・研
 盤ケンパン・(五十戸家ゴジュウコヤ→サトノイエ)・育食サイ
 ショク・盤 サラ・者シヤ・沙僧シャツウ・儒ジュ・周シユウ
 ・主馬シュメ・丹ショウ・丈ジョウ・真シン・人事ジンジ・
 信等シントウ・研盤スズリカラ・成セイ・千セン・太タ・
 陀ダ・大ダイ・大膳ダイゼン・内裏盛所ダイリモリドコロ・
 炊女カシメノ・短チ・調チョウ・坏ツキ・丁テイ・亭テイ・天
 チン・(天長節テンチョウセツ)・東トウ・奈ナ・乃ノ・莫
 バク・盤パン・日ヒ・美ビ・東ヒガシ・広ヒロ・夫フ・房
 ボウ・本ホン・万呂マロ・道ミチ・若五十五ムチゴジユウ・裳
 モ・文選巻モンセンカン・也ヤ・揚ヨウ・養ヨウ・新リョウ
 ・禮太郎レイタイロウ

器種名の墨書 器ウツウ104
 盤サラ103・104, 研スズリ105, 坏ツキ104・106
 宮内省関連の墨書163
 組み合わせ文字(我・君・念・金・道・為)の墨書104, PL.
 58-4

北府ホクフ(平城宮の兵衛の詰所) PL.36-91
 北面築地26 →築地
 柵ホノ(部材を組み合すために作った突出)
 柵のある部材124・130, PL. 72-129-132, PL. 75-190
 ・191・193, →雁い柵ヤトイボツ124
 柵穴ホノアナ(部材を組みあわすための柵をいれる穴) 112
 柵穴のある角材123・130, PL. 72-118-120
 法起寺ホツキジ(奈良県)の軒平瓦68・68-23
 墨痕ゴッコン95・105・106・116
 掘立柱ホツタテバシラ21
 掘立柱明50, 掘立柱用の掘形21,
 掘立柱建物ホツタテバシラタチモノ(掘立柱式建物) 21 →建物
 SB489 14右・25, PLAN3, PL.7, Tab.27
 SB497 14左・29・50・52・154, PLAN2, PL. 9-2・3,
 35-3, Tab.28
 SB498 14左・15右・29・50・52・154, PLAN2, PL.
 10-3, 11-4, Tab.29
 SB501 14左・32・36・50-52・151・152・158, PLAN3,
 PL.5-3, Tab.27・28
 SB502 32・50・51・155, PLAN3, PL.5-3, 6, 7-1,
 8-1, Tab.30
 SB508 33・50・52・151, PLAN9, PL.14-2, Tab.26
 SB509 33・151, PLAN9, Tab.26
 SB510 33・51・52・152, PLAN9, PL.8-2, Tab.27
 SB515 34・155・PLAN9, Tab.30
 SB520 14右・15右・30・155・167, PLAN8, PL.5-2,
 8-3, Tab.30
 SB523 14右・34・50・152, PLAN9, PL.8-2
 SB525 34, PLAN9
 SB540 15左・34・36・51・52・151・152, PLAN10・12,
 PL.12・13, Tab.27-29
 SB545 30, PLAN2, PL.9-2・3
 SB550 15右・31・155, PLAN7, PL.10-3, 11-2,
 Tab.30
 SB585 15左・18左右・35・50-52・151・152, PLAN11
 ・12, PL.14-1, 16-1, Tab.27
 SB633 39, PLAN12, PL.13-1,
 SB708 16左右・46・154, PLAN18, PL.29-3, Tab.29
 SB710 16左右・46・51・154, PLAN18, PL.29-3, T
 ab. 28
 SB717 16右・46・51・154, PLAN18, PL.28-3, Tab.

27
 SB730 16左右・47・50-52・154, PLAN18, PL.27-
 2・3, 28-1・2, Tab.28
 SB750 47・155, PLAN18
 SB765 16左・47・51・52・154, PLAN18, PL.29-2,
 Tab.29
 SB780 16左・47・50-52・155, PLAN18, PL.27-2,
 28・29, Tab.30
 SB795 16左右・47・50-52・154, PLAN18, PL.27-
 2, 29-1
 SB805 16左・48・51・52・154, PLAN18, PL.32-1・
 2, Tab.28
 SB808 16左・48・51・52・154, PLAN18, PL.32-1・2
 SB809 48, PLAN18, PL.32-2
 SB815 16左・48・51・52・154, PLAN18, PL.32-3,
 Tab.28
 SB818 49・51・155, PLAN18, PL.29-1, 32-3, Tab.
 30
 SB845 16左・39・155, PLAN17, PL.26-1, 27-1,
 Tab.30
 SB930 19左・39・51, PLAN15, Tab.29
 SB935 40, PLAN5, PL.20-1
 SB960 17左右・40・50-52・151・152, PLAN13, PL.
 18-2, Tab.27
 SB970 17左右・40・50・52・153, PLAN5・13, PL.18
 SB977 40, PLAN13, PL.18,
 SB980 17左右・40, PLAN13, PL.18-2
 SBI000 17左右・41・50-52・151, PLAN13, PL.18,
 19, Tab.26
 SBI015 17左・18左・41・50・152・153, PLAN13, PL.
 18, 19-2・3, Tab.28
 SBI055 17右・18左・41・50・52・155, PLAN14, PL.
 18, Tab.30
 SBI080 17左右・41・50・52・150・151, PLAN13, PL.
 18, 19-1・3, Tab.26
 SBI085 17左・42・50・52・150・151, PLAN14, PL.
 18-1, 20-3, Tab.26
 SBI135 17右・19左・42・50・153, PLAN14, PL.17-
 3, 21-2, Tab.29
 SBI140 17右・42・50, PLAN14, PL.21-2.
 SBI165 42, PLAN14, PL.19-1,
 SBI182 42, PLAN14,
 SB2131 19左右・45・50・52・150・151, PLAN16, PL.
 23-2, Tab.26
 SB2140 19左・45・50・52・155, PLAN16, PL.23-2,
 Tab.30
 SB2148 45, PLAN16,
 SB2170 19左右・45・50・150・151, PLAN14・16, PL.
 17, 23, Tab.30
 SB2190 18右・37・50・52・153, PLAN11, PL.16-1・2
 SB2225 18左右・37, PLAN12, PL.16-3
 SB2245 45, PLAN12, PL.16-2
 掘立柱建物を礎石建物にたてかえ(SB520)30
 骨ホネ(檜扇の部分名称)112・113, 骨の数112-1)
 掘形ホリカタ(構築のために作る穴, 掘方)
 暗渠アンキョ施設用の掘形24・25, 井戸の掘形19右, 礎石据え
 つけ掘形21, 掘立柱の掘形21, 掘立柱掘形出土の土器98
 本ホン(墨書土器の文字)107

本直五右一・本直七左一(樽センの鑑書)74
本朝世紀ホンナウセイキ(室町時代の文献)161
本朝皇胤紹運録ホンナウコウインシヨウウンロク(平安時代の文献)161

マ 巻きマキ 横巻千段巻き132

番マケをとめる木針(木製品の種類の名)114

曲物マゲモノ容器

曲物容器の部分名称

側板ガワイタ121, 底板ソコイタ112・121・130, PL.70
—82~100, Tab.15, 蓋板フタイタ111・120~121, 130,
PL.70—102~107, Tab.16

平面枱円形の曲物122—112, 曲物杵子シヤクシ121

榎目マサメ・榎目板マサメイタ(板の種類)115~117, cf.板目

間仕切マジキリ(建物の中を仕きること)34・39・45

麻須マス(木簡に記された魚の名)56

間マナ(刀の部分)115

松マツ(木炭の原料)133, (古墳に生えていた木)54

末蒿マツショウ(木簡に記された調味料の名)56・165

間柱マバシラ(主要な柱の間にある付随的な柱)48

真浜女マハマメ(木簡に記された人名)56, PL.36—196

虻マムシ(木簡に記された食品名)56

磨滅マメツ・磨耗マモウ 土器94, 木製品128・130

藪マユから生糸をとる118

境マリ・ワン(木簡に記された器名)56

丸尾彰三郎マルオショウサワロウ(研究者名)112—(1)

丸瓦マルガワラ73, 丸瓦を組み合わせた暗渠25

丸底マルソコ(土器の底の形)86

丸棒マルボウ(木製品の種類)111・125・128・132

万呂マロ(墨書土器の文字)108, PL.61—79

万マン(墨書土器の文字)107, PL.60—65

万葉仮名 マンヨウカナ57

万葉集マンヨウシュウ59

ミ 身ミ(刀の部分)115

三浦伊八郎(研究者名)134

参河ミカワ(木簡に記された国名) 小擬イギス調付札57, 中男作物
荷札56, 調塩荷札56, 插豆郡ハズケン折島サクシマ豊佐米楚
割サメノソワリPL.37—367・371, 插豆郡篠島シノシマ豊赤
魚56, PL.37—364

右回りミギワリ(ロクロ回転方向)81—114, 84—119, cf.左回り

造酒司ミキノツカサ →サケノツカサ(官衙名)163・165, Fig.59

造酒司地域の瓦Tab.22

御厨子所ミズンドコロ(平安宮の官衙名)59

溝ミヅ(遺構の種類 表示記号SD) →雨落溝・暗渠アンキョ・斜
行溝・東西溝・南北溝

SD105(藤原宮の溝)の土器(飛鳥V=平城宮I)別表5

SD485(第55次調査)の土器(平城宮II)別表5

SD487=SD890 12・14左・16右・17左・29・30・38・50・
155, PLAN5・13・15・16・20, PL.18—1, 20—1, 21—3,
22

SD487出土の土器158

SD503 14左右・29・50・54, PLAN2, PL.35—3

SD534 25・34 PLAN10・12, PL.14—2

SD536 30・155, PLAN2・3・8—10, PL.5・6

SD568 31・50, PLAN7, PL.13

SD569 31, PLAN7, PL.13

SD572 10・31, PLAN7

SD822 26, PLAN17

SD831 26, PLAN6・17

SD890=SD487 12・16右・17左右・19左・20左, 38
→SD487

SD910 17左・25・38, PLAN5・6, PL.22

SD922 17左・39・40・50, PLAN5

SD941 27・166, PLAN5, PL.4—1

SD990 17右・50, PLAN15

SD1020 17左, PL.18—2

SD1900(第16・17次調査)139, SD1900の土器(平城宮I)
別表5

SD2084 19左右, 42・50, PLAN6, PL.2—1

SD2090 18右, PL.22

SD2093 19左・26・42・50, PLAN6

SD2098 42・51・52・150, PLAN5・6

SD2110 13・19左右・44・50, PLAN6・15, PL.22

SD2126(方形にめぐらした溝)13・19左・44・50・71, PLAN
16, PL.22

SD2126出土の土器98・152・153・157, PL.24—1

SD2246 45, PLAN12, PL.13—1

SD2700(東大溝)163

SD3035(第22次北調査)の土器139

SD3715(第27次調査ほか)31

SD3765(第27次調査)の土器139

築地回廊にともなう雨落溝27

溝の部分名称 側ガワ・側石ガワイシ・底ソコ27

御曹司ミソウシ(官衙名)163

道ミチ(墨書土器の文字)105, PL.59—14

道ミチ(墨書土器の文字, 金・為と組み合わせ文字)104, PL.58—
4

御堂関白記ミドウカンバクキ(平安時代の文献)162

御養殿ミニエドノ(平安時代の建物)165

美濃ミノ(須恵器の貢進国名)147

御極殿ミヘドノ(平安時代の建物)162, Fig.60

身分証明(木簡の内容)56

美作ミマサカ(木簡に記された国名)中男作物荷札56

宮本啓太郎ケイトロウ(研究者名)114—2

宮本常一ミヤモトツネイチ(研究者名)118—(7)

宮本長二郎ミヤモトナガジロウ(研究者名)156—(4)

明王院ミョウオウイン(広島県)の塗師工具118—(9)

海松ミル(木簡に記された海藻の名)56

民部省ミンブショウ(八省の一)56

ム 麦ムギ(木簡に記された穀物名)真進札56, cf.大麦
弁儀猪養ムギノイカイ(木簡に記された人名)55

武蔵ムサシ(木簡に記された国名) 調鼓クキ付札57, 贊荷札56・
57

餅フナ背割ソワリ 贊付札57, 鼓クキ 贊付札PL.37—404

管五十ムチゴジョウ(墨書土器の文字)107, PL.61—71

筵針ムシロバリ116

六ツ目編みムツメアミ(編み方の名)132

棟瓦ムネカワラ138

棟通りムネドオリ(大棟のかかる位置)27・32・39・51

棟門ムネモン→ムナカド25・51

村上認一ムラカミジンイチ(研究者名)35—112

紫菜ムラサキノリ(木簡に記された海藻の名)58

メ 目隠脚メカクシベイ(入口の前の脚)33・37・40・152
飯しゃもじメシヤモジ(木製品の用途)119

馬道メドウ(建物の中を通りぬける道)33・39

馬寮メリョウ(官衙の名)3

綿メン(木簡に記された繊維材料の名)57

面戸瓦メンドガワラ(道具瓦の種類名)73, 蟹面戸カニメンド73

面取りメントリ 土器80, 木製品118・119・126・128・129

モ 裳モ(墨書土器の文字)104, PL.58-5

主水司モイトリノツカサ(官衙の名)164・166

もえさし133

木材モクザイ進上文書木簡157・158

木製品モクセイヒン

木製品の加工法111・112, PL.75

相欠きアイカキ116, 粗割りアラワリ116・127・128, 埋木

ウメキ125, えぐり112・124・127, 折り欠きオリカキ131,

刻み目キサミメ111, 切りおとし119, 切り欠きキリカキ

112・124・131, PL.75-122, 切りこみ125・127, 切り

目118, くりかた116・117・127・131, 削平サクヘイ111,

裂け目サケメ129, 切断セツダン111, そぎおとし127, V

字形断面の溝129, 磨研マゲン111, 木賊トクサによる磨

研111, 面取りメントリ118・119・126・128・129, 連続

レンテツ126, 割り裂き111・125

木製品加工の工具 →工具コウグ

木製品の木取キドリ・材ザイ →木取キドリ

板材イタザイ111, 板目イタメ・板目板118・123・126・128

薄板ウスイタ112・113・115・120・128, 角材

→125・130

柱状材チエウジョウザイ127, 棒状材124

細板材ホソイタザイ115・118・125

柾目マサメ・柾目板115・120・121・124・126・127・129

・130

木片モクヘシ115

木目モクメ→木理モクリ111・121・122, →木取り

割り材ワリザイ128

木製品の材料 ヒノキ・檜112・115・116・118・120・121・

125・127・129・130

木製品出土の遺構

SK820 112-128, SK870 129・131, SK2101

128-130, SK2102 130, SK2104 129, SE2128

130, SE2278 128

木製品の種類

工具コウグ115・116, 129, PL.66-33-37, PL.74・

77

木針キバリ116・129, PL.66-37, 工具の柄116,

PL.66-35

墨刺ズミサシ116, PL.66-36, 刀子トウスの柄115,

PL.66-33・34,

鳶口トビタチ形木製品129, PL.77-179・180, 火

鏡白ヒキリウス129, PL.74-178

祭祀具サイシク115・128・129, PL.66-26-32, PL.

74

形化カタシロ127, 刀形カタナガタ115・128, PL.66

-26・27, PL.74-171, 削り掛けケズリカケ128,

PL.74-172-175削り掛けの一種か127, PL.73-

156-158, 鏡形ソクガタ・ヤジリガタ115, PL.66-

29, 人形ヒトガタ115, PL.66-31・32, 鏡形ヤジリガ

タ115, 利器形リキガタ(剣ツルギ・鉈ヤリガンナ)115,

PL.66-30

食膳具ショクゼン118-120

列りもの杓子クリモノシヤクシ119, PL.71-74, 匙

サジ形木製品118・119・129, PL.68-46-56, 74

-181, Tab.13杓子シヤクシ形木製品119・129,

PL.68-60-71, PL.69-61-65, PL.74-182,

Tab.14, 箸ハシ120・129, PL.71-75

服飾具フクシヨクグ112-114, 128, PL.63-65, PL.74

櫛クシ113, PL.65, Fig.45, Tab.11, 下駄ゲタ128,

PL.74-170, 留め針トメバリ形木製品114, PL.65

-12-15・25, 櫛扇ヒキウキ112, PL.63, 64-1, 櫛

扇形木製品113, PL.64-4

部材ブザイ123-126, 130・131, PL.72

切り欠きのある部材124・131, PL.72-121-124,

くりかたのある板131, PL.74・75-192, 柄ノゾ

のある部材124・130, PL.72-129-132, PL.

74-190・191・193, 柄穴のある角材123・130,

PL.72-118-120, 丸棒マルボウ125, PL.72-133

・134, その他の部材125, PL.72-135-144, ロ

クロ挽き木材131, PL.74-197-201

紡織具ボウシヨクグ116-118, PL.67-38-45

糸巻イトマキ116-118, PL.67-38-43, 紡錘車ゴ

ウスイシヤ118, PL.67-44・45

容器ヨウキ120-123, 130, PL.69・70・74

漆蓋ウルシノフタ123, PL.71-117, 折敷オシキ122,

PL.71-108-113, 箱ハコ123, PL.71-114, 盤ハコ

123, PL.71-116, 蓋フタ形木板120・130, PL.

69-76-81, PL.74-184, 槽フネ130, PL.74-188,

曲物マゲモノ容器120-122・130, PL.70-82-107,

Tab.15・16

用途不明の木製品126-128

挟りエグリある木製品(削り掛けの一種か)127, PL.

73-156-158, 柄ノ状木製品127, PL.73-159,

串クシ形木製品128, PL.164-166, 穀子サイコロ形

木製品127, PL.73-161, 十字形木製品127, PL.

73-160, 小円板126, PL.73-152-154, 穿孔板

126, PL.73-148, 柱状木製品127 PL.73-162

その他の木製品

杭クイ125, PL.72-141・142, 榎クサビ125, PL.

72-135・137, 釘クキ125, 物差モノサシ122, PL.

70-111・111

木製品の磨滅・磨耗118・119

木炭モクタン133・134, Tab.19, 22

木桶モクヒ24

文字瓦モジワラ74

木目モクメ・木理モクリ→木取り

文字樽モジセン74

木簡モクカン17右・19右, 55-59

SK820の木簡55-58, PL.36-40, Tab.2

SK870の木簡58, SK2101・SK2102・SK2107の木簡59

→国名コクメイ →紀年木簡キネシモクカン →食品シヨクピン

→調チョウウ→中男作物チョウナンサクモツ →贅ニエ, 造宮関係

の木簡157, 木簡伴出の軒丸71, 木簡伴出の土器139・140

木工寮モッコウリョウ・コダクミノツカサ56

木村豪章モトムラタケアキラ(研究者名)12-(8)

物差モノサシ(木製品の種類名)122, PL.70・71-111・111

百瀬正恒モモセマツネ(研究者名)140-111

身舎モヤ(建物の部分)14右・32・155, →廂ヒサシ

森 郁夫モリイクオ(研究者名)136-(2)

盛所モリドロ(墨書土器の文字)内裏盛所165, PL.60-63

- 門モン 外門(=宮城門)・中門(=宮門)・内門(=閤門)164
北門・東三門(木簡に記された門の名) PL.36-100
東一門(木簡に記された門の名) PL.36-92
南面築地付属門(SB489・SB575) 25・51
平安宮の門
 宜秋門ギシユウモン・建春門ケンシュンモン160, Fig.
 59, 支輝門ゲンキモン160・162・163, Fig. 60, 朔平
 門サクヘイモン160・163, Fig.60
 式乾門シケンモン160, 平門161
棟門ムナカド(2本の柱の上に屋根をつけた門 駈にとりつく
SB489・SB575 25・51
門の名の改称160
門の守衛55, PL.36-100
門の名を記した木簡55, PL.36-92・100
- 文選 モンゼン・文選注モンゼンチュウ(中国の文献名)56・58・103
文選習書木簡56・58・103, PL.39-554・688-764
文選巻(墨書土器の文字)103, PL.57-1
- ヤ 也ヤ(墨書土器の文字)105, PL.58-10
焼きいれ(鉄の刃部を柄に挿入固定する方法)116
八木久栄ヤギヒサエ(研究者名)66-08
役所ヤクショ→官衙カンガ
鐵形ヤヅリガタ(木製品の種類)115
焼痕ヤケアトをもつ土壇(SX801) 48
保井芳太郎(研究者名)62-(2)・71-06
安子ヤスコ(平安時代の人名)161
矢田ヤタ(文字瓦の詠書)74, Fig.34
薬境甲号ヤクカンコウゴウ(正倉院宝物須恵器の名)146
薬壺ヤッコ(土器の器種名 =壺A)80
雁い柄ヤトイホゾ(別木で作った柄)124・125→柄
山口伊美吉ヤマグチノイミキ(木簡に記された人名)57
山木遺跡ヤマキ(静岡県)の折敷オシキ底板122-(12)
大和ヤマト(土師器の真進国名)147
遣方測量ヤリカタ22
繩ヤリガンナ(木製品加工の工具)111・115・121
- ユ 柚ユウ(うわぐすり)自然種85・86, →鉛箱エンユウ・ナマリユウ
有孔度ユウコウド(土器の胎土の多孔質の多寡)147
床束ユカヅカ(床をささえる束ヅカ, =束柱)22・32・48
床張りユカハリの建物32
寛明親王ユタアキラ(=朱雀天皇)161
- ヨ 楊ヨウ(墨書土器の文字)104, PL.58-6
糞(墨書土器の文字)107, PL.60-53・56
(木製品の墨書)115
容器ヨウキ →土器 →木製品食膳具・容器, 土器に墨書され
た容器の名→墨書土器, 木簡に記された容器の名56
陽明文庫ヨウメイブンゴホ『宮城園』159・160・162
養老ヨウロウ(8世紀の年号)136・156・157・164
 養老紀年の木簡56-58, Tab.2
与区閉ヨクヘ(木簡に記された容器名)56
横大道ヨコオオミチ古墳(広島県)の佐波理 別表5
吉田恵二ヨシダエイジ(研究者名)60-(2), 156-(3)・(5)
吉本堯俊ヨシモトギョウシュン(研究者名)60-(2)
寄柱ヨセバシラ(築地にとりつく柱) 寄柱穴16右・18右・25
四つ目編み(編み方)132
四つ目錐ヨフメキリ(木製品の工具)112
四文ヨンモン(刀子トウスの柄の針書の文字)116
- ラ 楽書ラクガキ(=落書, 木簡の種類)58, PL.39-542
螺旋暗文ラクエンアンモン75・80・144 →暗文
蘭林坊ランリンボウ(平安宮の殿舎)10・159・160・164, Fig.
59・60
- リ 理リ(瓦の刻印の文字 修理の理)74, 74-(29)
利器形リキガタ(木製品の種類の名)115 →形代カタシロ
李善リゼン(中国唐代の人名, 文選注の著者)56・103-04
析リョウ(墨書土器の文字)106
令リョウの規定164
良炭リョウタン(木炭の種類)134
稜椀リョウワン(緑釉陶器の器種名)100
緑釉瓦リョクユウガワラ74
緑釉陶器リョクユウトウキ100・145・146
 皿・蓋・稜椀100, 緑釉陶器を模倣した土師器143
輪伏痕跡リンジョウコンセキ(緑釉陶器にみられる痕跡)100
- レ 醜大郎レイタイロウ(墨書土器の文字 人名)96・107
靈亀レイキ(8世紀の年号)木簡139
列点レフテン(墨画土器の墨点)105
連弧暗文レンコアンモン(暗文の文様名)77・144
運弁レンベン(墨画土器の画題)106
- ロ ロクロ(製陶用ロクロ) 須恵器のロクロ回転方向81-(14),
83-(18), 84-(19)
 ロクロ削り100, ロクロ削りの範囲82, ロクロ撫でナデ
 76・99・100'
(木工用ロクロ) ロクロ挽き112・131・123, ロクロ目112・
131
 同心円状のロクロ目112, 木理直交のロクロ目131,
 ロクロ挽き残しの木屑131, ロクロ工房131, PL.74-
 197-201, PL.75-200
- ワ 若狭ワカサ(木簡に記された国名)調温荷札56・57, 糞多比タイ
荷札56, PL.37-399, 替胎貝イガイ荷札59, 不明PL.40
-1950。
若海藻・假海藻ワカメ(木簡に記された海藻名) 但馬發付札・
長門付札 Tab.2
藁ワク(木製品の種類名)118
梓木ワキ(糸巻の部分名)112・117
綿ワタ(木簡に記された繊維材料の名)56-58, Tab.2
 西海道諸国(筑前・肥前・肥後・豊前)からの調綿56,
 黒綿・短綿57
和銅ワドウ(8世紀の年号)
 和銅紀年木簡136・139, 和銅年間創建の内裏156
和名類聚抄ワミョウルイジュショウ・和名抄(平安時代の文献)160
我ワレ(墨書土器の文字, 君・念と組み合せ文字)104, PL.58
-4
碗ワン 碗ワン(土器・木製容器・金属製容器の器種名)
 金属製の碗143・別表5
 須恵器の碗A84・87・96・148, PL.47-234, 碗B148
 土師器の碗A78・87・92・94・105・108, PL.51,
 Fig.49
 碗Aの多量化145, 碗C78・92・94, PL.45-40,
 Fig.49
 碗D79, PL.45-13
 碗の刻線文108・109, 碗の灯火器109
 碗ワン(木簡に記された土器の器種名)56